

令和3年度
長野県木材青壮年団体連合会

第3回定例理事会



令和3年11月28日(日)

長野市 長野県立美術館

日本木材青壮年団体連合会 綱領・会歌

綱 領

われわれ木青連は

おなじ世代の木材人として
交流を深め相互の啓発につとめよう

若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう

木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

会 歌

一、木を愛し木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために世のために

広く普及^{った}えた 木の香り

ああ 我ら

木青連の心意気

二、木を学び 木に求め

あまねく同志^{とも}と たずさえて

相互^{たがい}の力 結びあい

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら

木青連の理想なり

三、木に育ち 豊かさを

伸びゆく我ら 若人が

若き叡知と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら

木青連の使命なり

令和3年度 第3回定例理事会 次第

日 時：令和3年11月28日（日） 10:10～12:00
場 所：長野市 長野県立美術館 B1F ホール

- 1 開会の辞
- 2 会歌斉唱・綱領唱和
- 3 出席者確認
- 4 会長挨拶
- 5 直前会長挨拶
- 6 資料確認及び字句訂正
- 7 連絡報告事項
 - (1) 会議事業経過報告
 - (2) 日本木青連 連絡報告事項
 - (3) 出向者活動報告
 - (4) 正副会長・事務局連絡事項
 - ・PR事業報告書提出
 - ・カレンダー注文状況報告
 - ・木工工作コンクール表彰式について
 - ・県産材利用拡大に向けた要請活動（飯山市）報告
- 8 議長指名
- 9 議事
 - (1) 開会宣言
 - (2) 議事録作成人指名
 - (3) 定足数確認
 - (4) 議案採択

第1号議案	第2回定例理事会議事録（案）承認の件
第2号議案	信州山の日【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第3号議案	長野市農業フェア【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第4号議案	カラマツフェス【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第5号議案	国営アルプスあずみの公園【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第6号議案	役員任期について承認の件
第7号議案	第4回定例理事会開催（案）承認の件
- 10 協議事項
- 11 会団事業・活動報告
- 12 監事講評
- 13 閉会の辞

会議・事業経過報告

3月 5日	日本木青連・第1回理事予定者会議		WEB会議
3月 24日	長野県緑の基金 評議委員会		書面表決
4月 17日	日本木青連・第1回理事会		WEB会議
4月 28日	長野県林業団体協議会 通常総会	長野市	長野県林業センター
4月 28日	森林・林業施策懇談会(春)	長野市	長野県林業センター
4月 28日	中部森林管理局と林業関係団体との懇談会	長野市	長野県林業センター
5月 28日	長野県木材産業政治連盟 通常総会	長野市	ホテル信濃路
6月 8日	正副会長・事務局引き継ぎ会議	長野市	長野県林業センター
6月 9日	長野県木青連 令和2年度第2回理事会		書面表決
6月 9日	長野県木青連 理事予定者会議		書面表決
6月 10日	長野県県産材振興対策協議会 通常総会		書面表決
6月 15日	長野県木青連 定時総会		書面表決
6月 18日	日本木青連 第2回理事会	熊本市	ハイブリット会議
6月 19日	第66回全国会員九州熊本大会	熊本市	ハイブリット会議
6月 25日	長野県緑の基金 評議委員会		書面表決
6月 25日	長野県林業振興協会 通常総会		書面表決
7月 3日	長野県木青連 第1回理事会	小諸市	北佐久木材協同組合
7月 14日	松本材青会 総会		WEB会議
7月 17日	日本木青連 第3回理事会		WEB会議
7月 25日	信州山の日イベント木工教室	大町市	国営アルプスあずみの公園
7月 30日	県産材利用拡大に向けた要請活動(リニア新幹線長野県駅)	飯田市	飯田市役所
8月 7日	長野県木青連 第2回理事会	長野市	長野県林業センター
8月 25日	長野県緑の基金 評議委員会		書面表決
9月 11日	日本木青連 第4回理事会		WEB会議
10月 5日	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会	塩尻市	長野県総合教育センター
10月 5日	長野県木青連 第2回選考委員会	松本市	国興(WEB会議)
10月 6日	人事依頼	東御市	第三木材
10月 18日	長野県児童・生徒木工工作コンクール展示(～22日)	長野市	長野県庁1階ロビー
10月 23日	長野市農業フェア 木工教室	長野市	ビッグハット玄関前広場
10月 24日	カラマツフェス 木工教室	佐久市	駒場公園多目的広場
10月 30日	国営アルプスあずみの公園 木工教室	大町市	国営アルプスあずみの公園
11月 13日	日本木青連 第5回理事会	兵庫県	ハイブリット会議
11月 20日	北信越地区協議会in石川	石川県	石川県政記念しいのき迎賓館
11月 28日	長野県木青連 第3回理事会	長野市	長野県立美術館
11月 28日	長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式	長野市	長野県立美術館

ウッディレター

広告協賛の御願い

私たちの思い

令和3年度ウッディレターの完全オンライン化を企画し、私たち広報戦略委員会は準備を進めて参りました。これまでのPDF配信からオンライン化することで、スマホでも見やすく、写真と文字だけでなく動画や音楽を活用した発信、いいねやコメント機能による会員相互のコミュニケーション、人気記事の分析機能、などなどこれまで以上にウッディレターを楽しんで頂き、会員の皆さまのお役にたてる広報誌にしたいという思いで、6月に木青NET内にページを立ち上げることができました。

その後、会員皆さまのご協力を頂きながら、少しずつ記事を増やし、9月末の時点では20本を超える記事を掲載し、ご視聴頂く会員数も少しずつ増えてまいりました。

しかし現在、恥ずべき事ながら、私たちは広告協賛金を集めることができていません。

新たなウッディレターの立上げにほとんどの力を注いできたこと、立ち上がる前から新しいメディアにおける掲載方法をきちんと確立できていなかったこと、それと、コロナ禍による活動自粛で会員の皆さまに直接お会いする機会がなく、営業活動できなかったことが主な要因です。

そこでこの度、多くの皆さまに少しでも広告協賛にご協力を頂きたく、このような御願いさせて頂きました。皆さまに楽しんで頂けるウッディレターになるよう、広報戦略委員会一同努力して参りますので、広告協賛に少しでもご協力頂けると幸いです。どうぞよろしくお祈りします。



ウッディレターはこちら

広告協賛メニュー

ミニマム	ベーシック	プロフェッショナル	プレミアム
50,000円	100,000円	200,000円	360,000円
会社・事業PR記事掲載 ↳文字数：400字以内 ↳動画：3分以内 ↳写真：2枚まで ↳掲載：新着にのみ掲載 ↳掲載期間：1年間 ※いずれも提供ください	会社・事業PR記事掲載 ↳文字数：1200字以内 ↳動画：10分以内 ↳写真：5枚まで ↳掲載：新着にのみ掲載 ↳掲載期間：1年間 ※いずれも提供ください	会社・事業PR記事掲載 ↳文字数：無制限 ↳動画：30分以内 ↳写真：10枚まで ↳掲載：新着、オススメにUP ↳掲載期間：1年間 ↳動画製作サポート：zoomでインタビュー、録画、編集、サムネ作成あり ※もしくは動画素材持込	会社・事業PR記事掲載 ↳文字数：無制限 ↳動画：無制限 ↳写真：無制限 ↳掲載：新着、オススメにUP ↳掲載期間：1年間 ↳動画製作サポート：zoomでインタビュー、録画、編集、サムネ作成あり ※もしくは動画素材持込
OR	OR	AND	AND
バナー広告 ↳掲載：記事内のみ ↳期間：1年間 ※バナーは提供ください	バナー広告 ↳掲載：記事内、サイドバー ↳期間：1年間 ※バナーは提供ください	バナー広告 ↳掲載：記事内、サイドバー ↳期間：1年間 ※バナーは提供ください	バナー広告 ↳掲載：記事内、サイドバー ↳期間：1年間 ↳表示：常に表示 ※バナーは提供ください

※広告の掲載期間は、掲載後1年間

会社PR記事掲載

魅力的なサービスや商品を宣伝

900名以上を誇る日本木材青壮年団体連合会の会員、賛助会員に向けて、御社のPR記事を掲載しませんか？記事や写真の掲載はもちろん、動画で商品の詳細を紹介したり、どんな人が作っているのか、サービスへのこだわり、木材の細かい違いなど、多くの情報を発信することが出来ます。動画の撮影が難しい方には、広報戦略委員会でインタビュー形式での対談動画をオンラインで録画し、編集させていただきます。

「木にはオスモカラー」は本当なのか！？

「木にはオスモカラー」のキャッチコピーは、木材に染わることであれば一度は聞いたことがあると思います。そして、多くの方々が安心して使用することが出来るオスモカラーシリーズ。自然塗料というジャンルを広めたバイオニアとも言える存在です。

しかし、いまいち違いがわかりにくいのが塗料の世界。他の塗料と比べて

- 何が違うのか？
- どこが違うのか？
- 本当に性能いいのかな？
- 塗ってしまえばよくわからない？
- 安心、安全ってどれほどの？

と言った疑問を感じながら、でもなんとなく皆が利用しているから良いものなのだ。と信じて利用している方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回のウッディレターでは、皆さまの素朴な疑問にお答え頂くべく、オスモ&エーデル株式会社の取締役営業部長である大黒様に解説動画を頂きました！

この動画を見れば、いかにオスモカラーが優れているか。なぜ高い性能を出せるのか。他の塗料とどんな違いがあるのか。そして、いかに環境に優しい塗料か。そんなことがよく理解できる動画となっております。

皆さまの普段のお仕事に必ず役立つ情報となっておりますので、是非ともご覧下さい！！



- おすすめ投稿
- 会長リレー
- 勉強会
- 協賛企業紹介
- 大会関連
- 委員会活動
- 常任理事紹介

アーカイブ

- 2021年9月
- 2021年8月
- 2021年6月

いいね！ランキング

- ウッディレターオンラインの開設にあたって
- R3会長リレー 吉田敬彦さん(奈良県木...
- 令和3年度 ウッディレター第1号発行にあ...
- BCP講演会【第2回】の動画
- ウッドエンターテインメントって何？(前編)...

バナー広告

御社のHPに訪問社を増やします

バナー広告は記事内表示とサイドバー表示の2種類あります。※サイドバー表示はベシッププラン以上バナーのサイズは300×250ピクセル。大きく表示できるので、会社や商品ページへの誘導効果が期待できます。バナーの作成については、写真や情報をお送りいただければ、広報戦略委員会でお作りいたします。

ウッディレター広告協賛

お申込はこちら



左のQRコードのお申込フォームよりお申込おねがいします。お申込後、メールかお電話にて担当者様にご連絡致します。広告内容について打ち合わせさせて頂き、記事のUP、バナーUPの作業の後、御確認頂き掲載となります。

会議名	令和3年度 第5回理事会	
開催日時	令和3年11月13日(土)	
場所	神戸国際会議場&ZOOM 10時～	
常任理事		
出席者		欠席者
松原輝和、多田啓、青木健太郎、小日向直人、谷地譲、川井博貴、鈴木諭、梅谷雄高、中村晃輔、高篠孝介、瓦野光貴、柴田君也、鈴木雄一郎、荒川敦郎、小川和久、小栗幹大、田中一興、三渡保典、野崎健太郎、野副大治、小友康広、鶴川秀樹、野地信卓、古谷隆明、野瀬正樹、瀧澤貴弘、寺見良太		田家岳司
理事		
WD委員会3名、FD委員会2名、木育創造委員会1名、木材活用委員会2名、全国大会実行委員会2名、総務委員会2名、活性化委員会1名、会団長理事13名、		
議事録作成者	総務委員会	
議事録署名人	小栗地区長 大原会団長	

1. 開会 2. 国歌斉唱(割愛) 3. 会歌斉唱(割愛) 4. 綱領唱和(割愛) 5. 出席者確認 6. 前回議事録の承認 7. 議事録作成人・署名人指名

12. 協議事項

7 日本木青連 一般社団法人取得へ向けた準備の開始 [計画議案書・予算書]

発言者	内容
谷地会長補佐	<p>これまで4月以降になります。報告の所で皆様から日本木青連の社団法人化に向けた内容を様々議論も含めてさせていただきました。そろそろ今年度の先も見えてきた所で、この社団法人取得可否、または継続も含めてどういった議論を皆様としていくかという所の準備をまずさせていただきたい。様々やってきましたが、素人の部分で解らない所が多々あります。どこまでどういうふうに進めれば良いのか、皆様とさらに深い議論をする準備をするものづくりが出来ていかないという所で、是非とも今回急なお願いではありましたが、社労士さんを使って定款のしっかりしたものを作り、この定款を基に皆様と議論を進めていきたいと思っています。するしない継続するは次の話であって、そこに向かって行く為の準備をする予算として55,000円、元々予算が無いので、本会の予備費からいただきまして、進めていければと思っています。まずはその第一歩を始めてみたいと思います。続けて社労士さんから作っていただいたものを議論の基として1月、3月理事会等を通じて議論をしていきたいと思っています。いずれにせよ今年度で出来る事に関しては、私担当としてやっていけるのは3月までと考えています。それ以降につきましては理事会を通じたり、常任理事会、執行部も含めて皆さんと議論をして継続にするのか、しないか、辞めるか含めて続けていければ良いのかと思っています。是非とも皆さんから色々なご意見をいただきながら、予算を含めた議案を開始させていただければと思います。説明は以上となります。</p>
FD 朝間副委員長	<p>谷地会長補佐の壮絶な資料の作成お疲れ様でございます。凄い大変な思いをしてやられているので、社団法人化しちゃいましょうかと言うほど軽い議論では無いだろうと思うので、少しご質問をさせていただきたいと思っています。準備をする為にこの55,000円が必要だというお話だったと思います。その部分に関して私は賛成致します。やはり、準備が無いと前に進まないだろうなど。ただ、事業概要を見させていただいた中で、真ん中の辺りに赤字で、本議案は上記1、2の部分の準備を行うこととなります。1の部分に関しては何ら問題無いと思うのですが、2の部分で黄色の線が引かれている、3月臨時総会をする箇所について、今後の進み具合によって変わる可能性が当然出てくるのかという事を考えますと、この議案自体が3月臨時総会をする事ありきで進めるにはちょっと強引な部分があるのかと思いますので、その部分が無ければ議案としては賛成致します。それと意見ですが、先程谷地会長補佐からも素人の部分があるので、少し解らない所があつてとご発言があつたと思いますが、社団法人になった後で、我々誰もが素人でどうやって進めていったら良いか解らない部分が、この部分の一番のポイントなのではないかと思っています。要は先生がいないという事ですね。ですので、この社労士さんがその方に値するのか、他の方が適任なのか解らない</p>

	<p>ですが、質問が会団からないし、地区から質問があった時に答えろというふうに思います。この後揉んでいただく中で、誰を先生として立てていくのか、そのお金をどうするのかという辺りも議論に加えていただければと思います。以上です。意見です。</p>
谷地会長補佐	<p>最初の3月臨時総会の部分ですね、この部分は決してここに向かってという事ではないです。そこまで行くまでの過程が大事で、理事会または各地区協議会、会団での議論も含めて、こういった形が良いのかという所を皆さんで探っていただきたいと思っています。今年度の中だけで考えれば、3月が最後の総会となる訳です。ここの部分でそこがリミットと考えていきたいと私の中では思っています。それ以降の部分につきましては、私は会長でもなんでもないので、また続けてやれと言われればいいですよ、駄目ですよと判断はしますが、それをいただかないと続けられないとなるかと思えます。次年度の部分も含めて、皆さんの中でやっていただければありがたいなと思えます。まずはそのテーブルに載せる為の準備を今回はさせていただきたいとのお願いです。議論云々はその先の部分できちっとやっていければ良いなと思えます。しっかりと資料を皆さんに提示して、議論の始まりを改めてやれば良いと思っています。今回急遽だったのですが、追加資料で皆さんからいただいたご意見に対する回答集を画面上に出しております。ここはどうなるの、解らない、知りたい等があればご意見を各会団、地区協議会通じて良いです、いただければありがたいなと思えます。今回は東海地区長からご意見を取りまとめてもらって、質問をいただいております。重複しているものもあるので一緒に見ていただければと思います。後でメールを配信しますので、確認していただければと思います。大きく難しい事ではない質問で結構です。解らない事を、私も考えてどの様な答えを出せば良いか、やり取りのキャッチボールが出来ると思えます。是非ともその部分をお願いしたいと思います。今回はそのテーブルを作りたいという事ですので、予算も含めてお願いしたいと思います。これで決定だという事ではないです。これから始めましょうという事です。</p>
FD 朝間副委員長	<p>議案に関しては今年度中という事で、3月の臨時総会を目指されるけれどもそれが絶対条件ではなく、とにかく前進させたいと理解させていただきました。私の意見の方の先生になる人を立ててはどうかという事に関して何か現時点でお考えがあれば教えてください。</p>
谷地会長補佐	<p>出来れば私が教えられれば良いのですが、そうはいかないので今回は仙台の茂木社労士さんが、日本青年会議所の繋がり、当時の青年会議所が社団法人から一般社団法人になるか公益社団法人になるか転換期が10年程前に迫られた時があり、その実際に自分で担当された仙台青年会議所を移行した際に行った方です。そういった実績もあります。また、財務環境は別になりますが詳しい方ですので今回お願いをした所です。あと継続的にという所についてはある程度この方が一緒になってマニュアルを作りながら各会団や地区、日本本会での運営の方法を含めてやっていく必要があるのかと思っています。その続きの部分に関してどうしてもこの方が必要だという部分はこの後で皆さんが考えていただければ良いと思えますし、皆さんのお知り合いの中で得意な人がいればその方をお願いするのもありなのかと思えます。決して各会団が社団法人を取れという事ではないです。日本本会が取得すれば良い話で、各会団については現状のままで一緒に参加をしていける状態ではありますので、変更する事なくやっていきましょう。日本本会、地区協議会はその中の一つの組織ですので、その中の流れが若干変わるだけだと考えていました。</p>
FD 朝間副委員長	<p>もう一つ質問です。今、最後に説明のあった地区協議会は本会の組織だけれども、各会団は別という事は、何を見て判断されているのか。</p>
谷地会長補佐	<p>日本木青連は各会団の皆さんがまずある事が前提です。その皆さんが会員として参加していただいておりますので、日本木青連という連合会組織があります。本当はこれが一つの組織、そして、各会団は各会団として一つの独立した組織です。決して日本木青連が岩手会団にこうしなさいと言って、はいそうですねとはなりません。それぞれがそれぞれの人格を持っているはずで、ですので、それぞれの人格が判断をしていただくのがまず基本になります。日本木青連も人格を持っていますので、対等に一緒にやっていきましょうと。各会団から出向者をいただいて日本木青連というのが成り立っています。ですので、基本ベースは各会団がある事が大事です。ただ、社団法人を取りましよう云々は全く関係ありません。</p>
FD 朝間副委員長	<p>今の質問の部分は非常に理解出来たのですが、地区協議会に関してどうなのかというのが少し疑問で、地区協議会によって総会を開いている地区と開いていない地区があり、かなり毛色が違うので、一概に括ってしまうものが少し疑問なので教えてください。</p>
谷地会長補佐	<p>地区協議会の総会についてはあれですけども、日本木青連の組織からいくと、地区担当常任理事、</p>

	<p>事業を行う為の担当常任理事が常任理事としてここにいますが、ここは同じものだと思っていただければ良いです。出向という形で選ばれて来ていますので、例えば地区協議会も日本木青連の委員会の一部だと考えていただければすっきりするのかなと思います。ただ、選出の仕方が違ってきます。そういった部分も含めてルールを統一化していかなければならない。今のままでも良いのですが、バラバラだとお金の問題も含めて、統一性が無くなる、不公平感が出てくるので、ある程度統一して、今までやれる事業は事業としてこれまで通りやっていきたいと思いますというのは、これから作れば良い。決してこれがルールだと押し付ける事はないです。</p>
瓦野監事	<p>日本木青連の総会で議決権があるのは、会団長です。という事は、会団長がこれをするのかしないのか、継続案件とするのかを、3月の臨時総会で審議する。会団長は各会団の代表で、今回の案件を継続審議するだけであれば何の問題も無いのですが、するしないを決議するという事は、各会団の一人一人が賛成反対の意見があるのかどうなのか、隅々まで行き渡らないと、日本木青連はトップダウンだけの組織では無く、ボトムアップの組織でもありますので、一般社団法人化を検討しようというのをテーブルに上げる事は、トップダウンとしては良い事です。ただし、皆さんの意見を900人近い会員の意見を吸い上げていく事が絶対に重要な内容です。私は各会団で臨時総会を開いて、各会団の結果を持って会団長は日本木青連の総会に臨んだ上で、継続案件なら良いですが、するしないを決めるのはそこまでしないと、総会という場に議案として提出するのもどうなのかという気がします。この会は例えば、昔年会費4,500円から7,000円に平成14年度のような、会費をただ単に上げるのではなくて、昭和49年に民青連から木青連に名称を変更した開祖ではなくて、本当の開祖になるという話です、今回の話は。今回の話は性急、時期尚早とは言わないけれど、各会団一人一人まで行き届いていますでしょうか、理解した上でやるやらないを決める形を取った上で、会団長が総会に臨まないといけないのではないかと思います。各会団の在り方が全て解っている訳ではありませんが、それぐらいの重要な案件であると私は考えています。</p>
谷地会長補佐	<p>その通りで、各会団がどの様な姿勢で臨まれるかは、各会団で決めていただければ良いのかと思います。先程もお伝えしましたが、決して3月がリミットでは無いです。今年度の中でいけばという意味です。私の出来る事はここまでで、これ以上やるのであれば、次年度も含めて検討していかなければならないので、理事会の皆さんがこれを決める事も必要になってきます。こちらはある程度のものを上程しますので、それに対してどの様に今年度決めていくかという所を、3月の総会なのか、理事会なのか、総会までいなくても結構ですが、その議論をここまで過去にも何度もありましたが、このテーブルにほとんど上がっては来ませんでした。この前で終わっていました。今回はテーブルに上げて、私達の未来をどうしようというのを、皆さんに問いながらやっていきたいと思っています。理事会の中でなくても良いです。終わった後、各委員会、各会団の皆さんに呼んでいただければそこで、お話も議論もキャッチボールをしながらやっていきたいと思えますし、最近はWEBもありますので、WEBでやれば良いのかと思っています。いずれにしても皆さんと議論をしながら進めていきたいと思っています。決して3月が最後ではありません。その後の来年以降も含めてやっていただいても結構だと思います。これを決められるのは理事会だけだと思います。理事会の皆さんで決めていただければと思っています。</p>
野間会団長	<p>先程の質問の回答で、私が解らなかったので確認をさせてください。愛知県でも質問を吸い上げて小栗地区長から出していただいたのですが、その時に出た県はどうなるのか、地区はどうなるのかという話で、今の話で県は別ですよというのは解りました。地区は日本の委員なので、うちなら東海地区は一緒に法人化しないといけないという解釈でしょうか。</p>
谷地会長補佐	<p>各地区それぞれが法人化をする事は無いです。日本木青連の本体が法人化をすればその組織の一部ですので地区協議会は、法人化の中の一つに入っています。日本木青連の一つだと見えるようになります。これまでは地区協議会は別組織だという感覚でいたかと思いますが。そうすると皆さんの意見を吸う場所としての機能としてしっかりやっていくのと、事業をやるのを分けてもいいと思います。やり方はそれぞれありますが、本会として法人格を取れば後は地区協議会も自動的にその一部となっていきます。手続き等は要らないです。</p>
野間会団長	<p>つまり日本が法人化すると各協議会も法人化されるという認識でよろしいでしょうか。</p>
谷地会長補佐	<p>法人化というか、例えば木活委員会が法人化をしますかと言ったらしませんよね。これと同じ事です。別組織ではないです、日本木青連は。何々の何々支店という事だから、別会社ではない。株式会社の中でいけば営業所です。東海地区営業所が地区協議会となります。</p>

野間会団長	一般社団法人日本木青連の東海地区協議会支部みたいなの事ですね。
谷地会長補佐	そうなります。地区協議会は今までもそうなのですが、本来は別組織ではないです。日本木青連の会長は、皆さんの推薦してくれた会長を、常任理事としてお願いしますという事でやりとりをしているのです。
野間会団長	私は全く別組織だと認識していたので、例えば東海地区ならそれぞれの規約があるのですが、もし社団法人化して変わるのであれば、各地区変わる所は変えていかなければならないという事ですね。
谷地会長補佐	定款の流れによって変えていかなければならない所はあると思います。
野間会団長	先程まだ配信されていない Q&A があると仰っていたので、その辺を記載していただけると説明する時に助かるのでよろしくお願い致します。
三渡地区長	今日の議論の焦点は、法人化の議論を進化させる為にちゃんとした資料を作らないと議論が始まらないので、その為のお金をくださいという所が審議のポイントになります。ただそれだけです。それを協議、協議、審議であるべき所を、協議、審議で急いだ所が手落ちであったと思いますが、そういうシンプルな議論のポイントです。これは継続事業できていますので、資料を付けていますがその質問をここでされてしまうと、いくらでも時間がかかってしまうので、ここは理事会の場で、審議する所なので是非協力いただいて、今後谷地会長補佐に詳しく聞ける時間があると思いますので、そちらで聞いていただければと思います。
多田直前会長	直前の立場で発言させていただきます。この公益法人の話は非常にデリケートな話で、歴代でも話が割れます。皆さん勘違いしないでいただきたいのは、各会団含めてある種の組織改革をしないとイケない時期があると皆さん認識されていると思いますが、難しいのは各会団用意ドンでやらないと変えられない所です。準備期間もありますし、地区協議会や会団改正点も年として違うので。確か平成28年に奈良会団が連合体から単会団に変わったと思いますが、そういった話です。日本木青連、各地区協議会含めて全部が一辺に変わらないとイケないのが難しい所です。来年すると言っても正直難しいから、内容も図るべき事もあるし。私は個人的には任意団体でも良いと思っています。ただ、日本木青連や各会団の事業を効果的に行うにあたって、どの体制が望ましいか、10年後とかに後輩が入ってくる時にどういった形が受け入れやすいかという事です。法人格はあくまでも選択肢の一つです。我々歴代の会長も法人化の話は水面下ではありましたが、テーブルに上げるか上げないかは非常に悩みました。今回松原会長はこのデリケートな内容で、皆さん割れますし、取りまとめは非常に難しい。ただ、議論をしないまま前に進めるほど危険な事はないから、デリケートな内容を恐る恐る皆さんに出してご意見をいただきたいという事です。私も亀山歴代も意見は違いますが、木青連が続いて欲しいという思いは変わりません。皆さんも同じだと思います。その選択肢の一環として法人化が有効か否かを議論していただきたいという事です。決めるのは総会です。ただ、時期は合わせないとイケないという所が今回の議論の難しい所ですので、その点はしっかり落としていただきたいですし、中々落ちる内容のものでも無いですが。日本木青連の事業にかなり精通している方も各会団で限られた方になってくるとは思います。この場におられる方は今の話も含めて持ち帰って自分達の会団や、地区、日本木青連がしっかり繋がって良い事業や、木材業界として良い効果を発揮するには、どういう形が良いのかという事を是非議論していただきたいという事が本質です。法人化というのは、皆さん感じていらっしゃる、コンクールの事等です。私も言われましたが、コンクールどうするのか、色んな意見もあります。日本木青連もそういう時期に来ている。一回我々もここでしっかり考えるというのが、テーブルに出した松原会長の思いでもあるので、その思いを受け取ってやっていただきたいと思います。

日本木青連の現状課題と法人化について 参考資料

令和3年度 会長補佐
谷地 讓

日本木青連の現状と課題（法令上の課題）

- **課題①**

現在は「法人格」がないので、団体名義で契約を行うことができない。

→それでも何かしらの契約を行わなければならない場合は、構成員の名義（多くは団体の代表者個人の名義）で契約を交わすことになる。**（いわゆる個人商店）**

- **課題②**

銀行口座や建物などの資産も団体名義では所有ができない。

→法人格がなければ、実態はどうであれ、法律行為の主体にはなれないため、あくまでも構成員の名義で各種財産を所有しておくことになる。

- **課題③**

業務上で生じたリスクや団体の財産の所在と処分の問題。

（事業等で相手方に対して生じた事故や損害の責任はどこに向かうのか？）

→法人格がなければ、実態はどうであれ、法律行為の主体にはなれないため、あくまでも代表者個人へと帰結していくこととなる。現在だと代表者が事故等で死亡した際は個人名義であるため、遺族の協力が得られないと契約した銀行口座や資産が使えなくなるかも。

日本木青連の現状と課題（過去・想定事例）

・課題①

現在は「法人格」がないので、団体名義で契約を行うことができない。

- ・任意団体だと社会的な信用度が低くみられる。
- ・補助金や助成金事業は個人とのやり取りができず、補助・助成金が受けられない。
- ・ウッドトランスフォームシステムで生じた権利（商標権・販売権）を得られない。

・課題②

銀行口座や建物などの資産も団体名義では所有ができない。

- ・極端に言えば、事務所の備品一つ、ボールペン等の全てが会長個人の所有物。
- ・団体として法律行為の主体にはなれないため、会長個人名義で各種財産を所有しておくことになる。本人の意思とは別に個人で3000万以上の預金資産を有している現状。

・課題③

業務上で生じたリスクや団体の財産の所在と処分の問題。

- ・事業等で相手方に対して生じた事故や損害の責任は団体として法律行為の主体にはなれないため、会長個人へと帰結していくこととなる。
- ・銀行口座や資産は法律上では会長個人の所有物となるため、病気や事故等で動けなくなり死亡したりした場合、遺族の同意が得られないと事業継続できなくなる場合がある。

日本木青連が法人化にて解決できること

・ 目的①

法人名義で権利取得ができるため、権利関係が明確になる。

- ・ これまでの権利（商標権・販売権）についても取得可能となる
- ・ 新たな事業で発生した権利等も法人名義で取得可能。

やり方によっては継続的な収入源確保も可能。

・ 目的②

契約等を法人名義で締結が可能となり、社会的信用の向上になる。

- ・ 法人名義で契約を締結することが可能になり、また法に定められた法人運営を行うため、組織の基盤がしっかりとし社会的信用へとつながる。

補助金・助成金事業の受託幅が広がり、新規事業等、活動の幅を広げることも可能

・ 目的③

業務上で生じたリスクや団体の資産は法人のモノとなる。

- ・ 事業等で相手方に対して生じた事故や損害の責任は法人となる。
- ・ 銀行口座や資産も法人のモノとなるため事業継続がスムーズ。

会長への一極集中していたリスクや資産の権限による負担の軽減が図られる。

日本木青連が法人化することの目的と理由

★全国組織としての社会的信用の強化

- ・法人化により法律行為の主体団体として社会的な認知と信用を高め、立場を明確にする
- ・林野庁や関係団体との関係を強化することにつながる
- ・事業展開をやりやすくする効果の期待。例えば、今後、何かの事業の委託を受ける場合、助成金の申請等法人であることが有利となる
- ・親団体を有しない、独立した団体であることを明確にする
- ・各会団へのより活発な活動支援につながる

★組織としての社会的責任の明確化

- ・法人化により会の運営は、今まで以上に厳格さが求められるようになる
- ・定款と法令の順守

★より透明性の高い団体に

- ・複式簿記による会計、専門家による決算書のチェック
- ・会員からも外部からも運営が見える団体に

一般社団法人を取得すると日本木青連はどう変わる？①

	任意団体の場合(現状)	一般社団法人を取得した場合
目的・事業	全国の木材産業に携わる青壮年経営者の交流と親睦、相互の啓発、知識と品位の向上を図り、木材・林業の普及啓発活動によって木材産業の近代化に寄与し、社会に貢献すること	全国の木材産業に携わる青壮年経営者の交流と親睦、相互の啓発、知識と品位の向上を図り、木材・林業の普及啓発活動によって木材産業の近代化に寄与し、社会に貢献すること
会員の構成	会員会団、正会員(会員会団の有資格者)、賛助会員(個人、法人、団体) * 会員会団は理事会の承認が必要	会員会団、正会員 賛助会員(個人、法人、団体) * 全て理事会の承認が必要
会員会団代表	各会団長を会員会団代表としている 選出規定等は無し。	社団法人に関する法律上の社員となる。 代表選挙を行い選出される 。選挙は毎年度実施。
総 会	年1回の通常総会。臨時総会(必要に応じて)。 会員会団(会員会団代表)によって構成 【総会承認の必要な事項】 ①会則の変更 ②事業報告及び収支決算の承認 ③その他特に重要な事項 * 次年度収支予算、次年度役員を選任は年度理事会で報告し、臨時総会で承認	定時総会(年度終了3か月以内)、臨時総会(必要に応じて) 会員会団代表によって構成 ①会員の除名 ②理事及び監事の選任及び解任 ③理事及び監事の報酬等の額 ④ 貸借対照表及び損益計算書の承認 ⑤定款の変更 ⑥解散及び残余財産の処分 ⑦合併及び事業の全部又は重要な一部の譲渡 ⑧基本財産の処分の承認 ⑨その他総会で決議するものとして法令又は定款で定める事項
理 事 会	年4回以上開催。 総会から委託された事項。総会に提出すべき議題。その他重要事項。について審議と執行状況の報告	年6回以上開催。 ① 業務執行の決定 ② 理事の職務の執行の監督 ③ 会長、副会長、専務理事の選任及び解任 ④直線会長、相談役、特別顧問の選任及び解任 ⑤総会開催の日程及び場所並びに総会の目的である事項の決定 ⑥規則の制定、変更及び廃止
役 員	・理事200名以内 ・監事3名以内 * 次年度役員を選任は年度理事会で報告し、臨時総会で承認	・ 理事3名以上30名以内 ・監事3名以内 * 理事及び監事は総会決議にて選任 * 会長(1名)及び副会長(5名以内)、専務理事(1名)は理事会の決議で理事の中から選定。

一般社団法人を取得すると日本木青連はどう変わる？②

	任意団体の場合(現状)	一般社団法人を取得した場合
役員選考方法	<p>役員予定者は役員選考委員会(当該年度常任理事会)にて決定し、理事会に報告する</p> <p>1)前年度8月末までに会長選考会を開催し、選考会で選出決定された会長予定者を理事会に報告しなければならない。 * 会長及び代行副会長は、全国8地区を便宜上、東西2ブロックに割り、このブロックの交代選出方法を採用し、会長選出地区の翌年度地区から代行副会長を選出する。</p> <p>2)前年度3月末日までに副会長(代行副会長含む)、会長補佐、専務理事、常任理事、理事および監事予定者を選出し理事会に報告しなければならない。 * 監事は前年度までの常任理事経験者とする。</p> <p>★最終的には、総会での承認が必要(3月臨時総会)</p>	<p>役員予定者は役員選考委員会(当該年度常任理事会)にて決定し、理事会に報告する</p> <p>1)前年度8月末までに会長選考会を開催し、選考会で選出決定された会長予定者を理事会に報告しなければならない。 * 会長及び代行副会長は、全国8地区を便宜上、東西2ブロックに割り、このブロックの交代選出方法を採用し、会長選出地区の翌年度地区から代行副会長を選出する。</p> <p>2)前年度3月末日までに副会長(代行副会長含む)、会長補佐、専務理事、常任理事、理事および監事予定者を選出し理事会に報告しなければならない。 * 監事は前年度までの常任理事経験者とする。</p> <p>★最終的には、総会で理事選任の承認が必要(3月or4月の臨時総会もしくは通常総会) 総会終了後に理事会を開催し、会長及び副会長、専務理事の選定を行う</p> <p>ただし上記の1)、2)の選出方法については、会の状況にあわせて変更できる。</p>
役員の任期	4月1日～3月31日の一年間。再任は妨げない	理事として選任後1年以内に終了する事業年度に関する総会の終結時まで。 ただし、4月1日～3月31日までと規定はできる。
理事会の権利		①次年度事業計画及び予算の決定 ②規則の制定、変更及び廃止 ③役職者の選任と解任

一般社団法人を取得すると日本木青連はどう変わる？③

	任意団体の場合(現状)	一般社団法人を取得した場合
役員構成	<p>理事会構成メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長(1名) ・副会長(7名以内) ・専務理事(1名) ・会長補佐(若干名) ・地区担当常任理事(8名) ・会務担当常任理事(5~8名程度) * 委員長職 <p>* 以上に直前会長加え常任理事会構成メンバーとなる</p> <p>・会団長 ・副委員長 * 担当常任理事+会団長+副委員長で200名以内</p> <p>他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直前会長(1名) ・監事(3名以内) 	<p>理事会構成メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長(1名) ・副会長(7名以内) ・専務理事(1名) ・会長補佐(若干名) ・地区担当常任理事(8名) ・会務担当常任理事(5~8名程度) <p>他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直前会長(1名) ・監事(3名以内) <p>* 理事会構成メンバー及び監事は毎年登記が必要</p>
役員任期	4月1日~3月31日の一年間。再任は妨げない	理事として選任後1年以内に終了する事業年度に関する総会の終結時まで。 ただし、4月1日~3月31日までと規定はできる。
補助金関連にて出来ること	本会での林野庁や関係団体から助成金を受けているのが現状。	<ul style="list-style-type: none"> ・林野庁関連のみならず、様々な省庁からの補助を受けることも可能となる。 ・会員会団が主体として補助金等事業をする際にこれまで受けることの出来なかった省庁や県からの助成を本会及び地区協議会と連携することで受けやすくなる。 <p>例) 岩手会団が経産省からバイマス関連PR事業を受けたいとした時、申請窓口を日本木青連として省庁への申請と契約から報告を担い、会団は事業実施及び報告書作成を担う。地区協議会は理事会への事業の審議伺いと報告を担う。</p>

会員会団や地区協議会はどう変わる？ ①

	会員会団	地区協議会
法人化が必要？	日本木青連の会員会団であるが、日本木青連の法人化に伴って、会団が法人化する必要は無し。	地区協議会としての変更はないが、日本木青連の組織の一部であり、 日本木青連の新たな定款や規定が適用される。
会員の資格は？	各会団の規定により、会員資格が決まってくる。 * 現状どおりで可。	日本木青連内の組織であり、地区内の会員会団が会員。役員は地区内の会員会団の会員による出向者にて構成される。
会費は？	各会団の規定により、会費が決まってくる。 * 現状どおりで可。	地区協議会の全体の統一的なルールが必要になる 例) 一旦日本木青連で地区協議会分の会費も含めて徴収し、日本木青連の事業費として予算の承認を受けて実行し、終了後は年度末までに報告が必要。
事業・会計は？	日本木青連の事業の有無に関わりなく、それぞれの事業をすることができる。	日本木青連内の組織として、理事会において年間事業計画・予算を承認の必要が生じる。年度内の理事会にて報告も必要。 また、事業報告・決算は総会において承認が必要。 委員会と同じような対応が求められる。
いまと何が変わるの？	会団においては、これまでと大きな内容に大きな変更はない。日本木青連の会員として、事業の運営にこれまで以上の協力を頂ければと思う。 会員会団代表を決める際に選挙が必要になる。	これまでと変わり、日本木青連の一組織としての色が強くなる。これまで通りの事業は可能と考えるが、事業計画等の手続きとして、日本木青連理事会等からの承認が必要となり、ひと手間増えることとなる。

<日本木青連法人化取得への質疑応答集>

- ・事務局の女性が一人みえると思うが、法人化すれば業務が増えて人数増やさないといけないのでは？経費の面も大丈夫ですか？
 - ・・・経理の仕分け方が大きく変わりますが、これまで以上に年間を通じて業務が増えることは想定しておりません。ただし、税理士等を依頼するようになると経費はこれまで以上増えることがあります。
- ・各地区や各県も法人化が必要か？
 - ・・・必要はありません。
- ・日木の法人化の必要性は分かるが我々県会団は何か変わるのか？
 - ・・・日本木青連が社団法人化をすることで、助成金等の活用がこれまで以上に広がります。また収益事業なども可能となり。日本木青連で行う事業を各会団が請負、全国に展開していく事（日本木青連の費用にて）など、会団の会員のメリットも増えてくるのが期待されます。
- ・日木への会費負担は増えるのか？
 - ・・・現時点では変更をする必要はないと考えます。
- ・東海地区・各単会団、運営方法・どのような影響があるか？
 - ・・・参考資料に記載の通りですが、会団の運営方法では、代表者を決める際の選挙を行ってほしい。この部分が増えるのみで、これまでの運営に変更は必要なし。地区協議会に関しては、日本木青連の一組織として、全国 8 地区が統一ルールで運営を行うことが必要になります。ただし、これまでの各地区の特色は担保できるかと考えます。
- ・実感がない。ピンとこない。運営が難しい？
 - ・・・社団法人化をしたらすべてが変わるわけではなく、これまでと同様の事務運営や事業展開ができます。一番大きな変化は対外から見られる印象と会長個人への責任の集中を無くしていけることかと考えます。
- ・対外的に印象が良くなるのでは。
 - ・・・上記にも記載しましたが、対外からは個人事業主から（一人格を持った）法人として認められますので、取引先としての印象はこれまでの比ではない信用を得られます。中身が伴っている必要がありますけれども。
- ・法人化の必要性・意義があるのか。
 - ・・・これまでの、資料であり今回の質疑応答であり、今後の議論をしていく中で、会員一人一人が当事者として判断をしていただければと思います。今回執行部は、これまでの組織での不足感や課題を解決していくために必要なものだろうと判断して議論を進めております。
- ・会計が面倒になるか？
 - ・・・これまでにもしっかりと、会計を行っていますので、フォーマットの違いがあるだけで、難しさはないかと思えます。

- ・資料だけでなく、できれば、口頭での説明も欲しい。
 - ・・・理事会及び活性化委員会等を活用して皆様に説明をして行きたいと思います。

- ・全国大会は、どうなるか？（会長選出についても。外部から招聘できるのか）
 - ・・・現状のままで、やり方次第で可能かと考えます。より公益的な事業を含めていく事で、全国大会の価値向上に繋がり、そのことが日本木青連の存在意義も増してくるのだと思います。

- ・日木での事業で、収入があった場合、各単会の会費は下がるのか？
 - ・・・この部分は、社団法人取得云々ではなく、理事会や総会などで、理事及び会員会団皆さんの総意で決定することになります。

- ・日木事務局の体制強化の必要があるのでは？
 - ・・・上記にも記載の通り、通年を通じて大きく業務が増えることは想定していませんので、現状の一人体制で可能かと考えます。

- ・各地区まで法人化しないといけないということですが、その場合地区や会団にかかる負担等が増えるのではないのか？
 - ・・・地区協議会は既に日本木青連の一組織ですから、本会とは別に取得の必要はありません。また会団等への負担増については、現状でやれるものと考えております。

- ・例えば、事務局の設置、事務員の雇用、それにかかる費用等がかかってくるのではないのか？
 - ・・・上記に記載の通り、現状で対応可能と想定しています。

- ・なぜ各地区まで法人化しないといけないのか？
 - ・・・地区協議会の法人化は、本会の一組織となっているため、別で取得することはありません。

- ・法人化されると、会団はどのように変わるのか？メリットやデメリット等で具体的に教えてほしい。
 - ・・・参考資料に新たに記載しました。会団は日本木青連の会員ではありますが、別組織となりますので、現状と変わらないで活動ができます。日本木青連が法人格を取得したことで、大きな変化ということは想定しておりません。

- ・昔からこのような話はあるようですが、今まで実現出来なかった理由を教えてください。
 - ・・・その議論の当時は日本木青連の事業等が業界内だけで完結できていたことや、法人格取得についての詳しい情報を得ることが難しかったことなどが考えられます。また理事会で議論の場を作れてこなかったことも一つかと考えます。現在は、インターネットの普及もあり、情報の収集が比較的簡単、また日本木青連のカウンターパートナーが業界内から異業種へと大きく変化してきていることもあり、内部のみならず対外的に法人化の必要性は高まっているのだと考えます。

- ・現在の日本木青連の形を保ったまま、法人格取得を目指した場合、参考資料にあるように会員会団と地区協議会の関係となると考えてよろしいか教えてください。
 - ・・・その通りです。現在の形を大きく変えないことを前提に、移行した場合を想定として検討を重ねております。

- ・ 地区協議会が社団法人格を取得しないといけないかについて教えてください。
 - ・・・ 必要はありません。現在においても地区協議会は既に日本木青連の組織の一部となっていますので、本会とは別に取得の必要はありません。ちなみに、各会団においても法人格取得の必要はありません。

- ・ 法人格取得にて、事業的に今後どんなことが出来るようになるかも含めて、参考資料にでも記載していただければ、もっと分かりやすくなるのかと考えます。
 - ・・・ 頂いたご意見を、211113 法人化参考資料の P7 最下段に記載しました。

- ・ 法人格取得に向けたスケジュールもあった方が、より理解しやすいのではないのでしょうか。
 - ・・・ ご意見たまわりました。理事会の中で改めて説明をさせていただきます。

- ・ 活性化委員会の活用をふくめて検討をお願いします。
 - ・・・ 川井代行とも相談をさせていただきながら、また地区会長を通じて会団からの様々な意見を上げていただけるようお願いしてまいります。



令和3年11月吉日

日本木材青壮年団体連合会
北信越地区協議会 各位

日本木青連北信越地区協議会 会長 田中 一興
北信越地区大会実行委員会 委員長 田村 紘一

令和3年度日本木青連北信越地区協議会会員長野大会の御案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃、当協議会の運営につきまして格別のご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、このたび標記大会を別添のとおり開催する運びとなりました。つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、ご臨席を賜りたくご案内申し上げます。今年度は懇親会までとなっております。宿泊希望者は大変恐れ入りますが、各自にてご予約をお願い致します。

謹白

記

- 【開催日】 令和4年2月19日（土）
- 【開催場所】 松本市 JA松本ハイランド 松本市会館
〒390-0815 松本市深志2丁目1番1号
[TEL] 0263-87-7483
- 【当日スケジュール】 14:30 受付開始
15:00 北信越地区協議会長野大会
16:30 記念講演・パネルディスカッション（予定）
18:00 大会終了
- 19:00 懇親会
- 【大会登録料】 15,000円（懇親会・消費税込み） ※予定

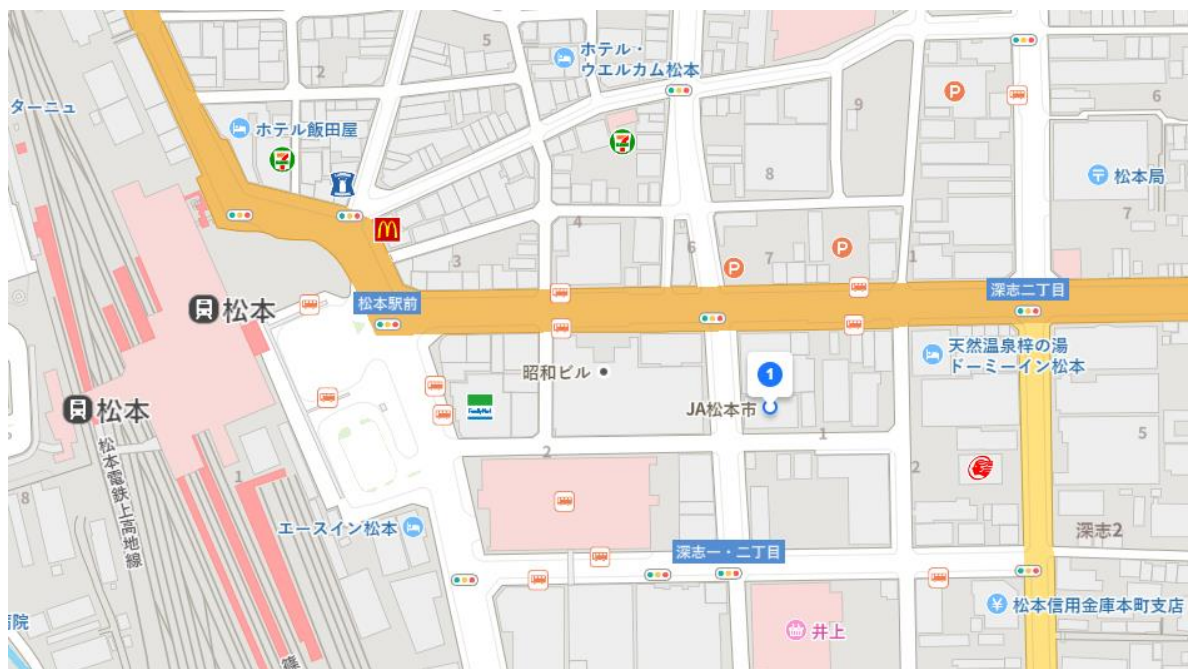
以上

<問合せ先>
北信越地区大会実行委員会 委員長
担当：田村 紘一
TEL:0267-67-3867 FAX:0267-68-5057

大会登録について

お申し込み方法：別紙「登録申込書」によりお申し込みください。欠席の場合でもご回答くださいますようお願いいたします。

1. お申し込み期限：令和3年12月24日（金）
2. 大会登録料振込期限：令和4年1月21日（金）
3. 大会登録料：@15,000円（懇親会・消費税込み） ※予定
4. 振込先：八十二銀行 小諸支店（普）819014 名義：カラマツカイ
※送金手数料は差し引かれないようお願いします。
5. 会場アクセス
松本市 JA松本ハイランド 松本市会館
〒390-0815 松本市深志2丁目1番1号
[TEL] 0263-87-7483



電車の場合：JR松本駅より徒歩5分

お車の場合：上信越道「松本IC」より10分



FAX 番号 : 0267-68-5057 田村木材 (株) 担当 : 田村 宛

令和 3 年度日本木青連北信越地区協議会会員長野大会登録申込書

下記申込表に必要事項をご記入の上、FAX にてお申込み下さい。

ふりがな ご芳名	ご所属 お役職	ご参加有無 (○×)		
		大会式典	講演会	懇親会
		15,000 円		

申込期限 : 令和 3 年 12 月 24 日 (金)

■大会登録料について

大会登録料 : @15,000 円 (懇親会・消費税込み) ※予定

振込先 : 八十二銀行 小諸支店 (普) 819014

名義 : カラマツカイ

※送金手数料は差し引かれないようお願いします。

<問合せ先>

北信越地区大会実行委員会 委員長

担当 : 田村 紘一

TEL:0267-67-3867 FAX:0267-68-5057

令和3年度PR事業報告書

会 団 名 _____

1. 事業名

2. 日 時

3. 場 所

4. 参加者数（来場者数）

子供 人

大人 人

5. 木青連出席者氏名

6. 内容・題材

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。

（提出期限：令和4年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

支出の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

(教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、
弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい)

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関		口座番号	
	口座名義人		普通・当座	

提出期限 令和4年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

記載例

令和3年度PR事業報告書

会 団 名 長野県木青連

1. 事業名

信州山の日イベント[木工教室]

2. 日 時

令和〇年7月〇日（日）
9:30～16:30

3. 場 所

〇〇市 〇〇高原

4. 参加者数（来場者数）

子供 100人
大人 90人

5. 木青連出席者氏名

長野 太郎（終日）
信州 一郎（終日）
松本 太郎（午前）
上田 一郎（午前）

6. 内容・題材

木工教室を開催。

・ミニ椅子づくり（イスキット） 100セット

《講師内容》

① イスの作り方（5分）木青連

② イス作り開始（45分）※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）



式典風景



木工教室



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。
（提出期限：令和4年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
PR事業費	115,576 円	
合 計	115,576 円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
材料費	81,000 円	県産材（杉）イス材料 810 円×100 セット
加工費	16,200 円	イス材料加工 162 円×100 セット
搬入費	5,000 円	運搬費（搬入・搬出）
備品、雑費 など	11,000 円	受付簿、整理券、会員紹介・木青連 PR チラシ印刷等
印刷費	2,376 円	受付簿、整理券等印刷
合 計	115,576 円	（税込）

（教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、
弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい）

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関	八十二銀行 ○○支店	口座番号	No.000000000
	口座名義人	長野県木青連	普通・当座	普通

提出期限 令和4年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

1. 長野材友会

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数						
101	松代木材																					0	0				0
102	マルオカ																					0	0				0
103	住まいのクラサワ	480	100	480	150																	250	120,000		1,500		121,500
104	山二ハウジング																					0	0				0
105	丸興木材																					0	0				0
106	ウッディプランニング																					0	0				0
107	小山木材																					0	0				0
108	アスカ木材																					0	0				0
109	おちあい																					0	0				0
110	土倉製材所			500	30																	30	15,000		500		15,500
111																						0	0				0
112																						0	0				0
113																						0	0				0
114																						0	0				0
115																						0	0				0
116																						0	0				0
117																						0	0				0
118																						0	0				0
119																						0	0				0
120																						0	0				0
合計		100	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	280	135,000	0	0	2,000	137,000	

昨年度受注

11月1日

10月15日

手数料(1部@¥50)	会団様	14,000
	木青連様	14,000

支払い金額	会団様⇒木青連	123,000
	木青連様⇒共立	109,000

注:上記金額は、税込み金額です。

2. 高水若杉会

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)		
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数								
201	瑞穂木材																		750	230			230	172,500			1,500	174,000	○
202	竹原木材										330	450											450	148,500			2,500	151,000	○
203	高社木材																						0	0				0	
204	信越木材																						0	0				0	
205	山三																						0	0				0	
206	内野																						0	0				0	
207	中澤木材										360	60											60	21,600		500	22,100	○	
208	藤澤建築																						0	0				0	○
209	竹節建築																						0	0				0	○
210																							0	0				0	
211																							0	0				0	
212																							0	0				0	
213																							0	0				0	
214																							0	0				0	
215																							0	0				0	
216																							0	0				0	
217																							0	0				0	
218																							0	0				0	
219																							0	0				0	
220																							0	0				0	
合計			0		0		0		0		0		510		0		0						740	342,600	0	0	4,500	347,100	

10月15日
9月4日
9月4日

手数料(1部@¥50)	会団様	37,000
	木青連様	37,000
支払い金額	会団様⇒木青連!	310,100
	木青連様⇒共立	273,100

注:上記金額は、税込み金額です。

3. 上小木青連

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
301	コクブ																					0	0				0	
302	上田住宅																						0	0				0
303	布施製材所																						0	0				0
304	浅木屋木材																						0	0				0
305	泉田木材工業																						0	0				0
306	樋沢産業																						0	0				0
307	日之出木材																						0	0				0
308	井出木材店																						0	0				0
309	小林木材																						0	0				0
310	丸山建材工業																						0	0				0
311	大久保木材																						0	0				0
312	第三木材												630	110								110	69,300		500		69,800	
313	イズミダ																						0	0				0
314	飯嶋林業																						0	0				0
315	おもだか屋																						0	0				0
316	川西 (川西木材)																						0	0				0
317																							0	0				0
318																							0	0				0
319																							0	0				0
320	上小木青連																						0	0				0
合計			0		0		0		0		0		110		0		0		0		0	110	69,300	0	0	500	69,800	

○

○

9月30日

手数料(1部@¥50)	会団様	5,500
	木青連様	5,500
支払い金額	会団様⇒木青連様	64,300
	木青連様⇒共立	58,800

注:上記金額は、税込み金額です。

4. 唐松会

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)				
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数										
401	マルナカ											360	50									50	18,000			500	18,500	○			
402	太田木材																					0	0				0				
403	山浦木材建材											350	70									70	24,500			500	25,000	○			9月6日
404	伊藤木材																					0	0				0				
405	小林林業																					0	0				0				
406	田村木材	480	50																			50	24,000			500	24,500				8月31日
407	中島木材																					0	0				0				
408	矢野木材工業																					0	0				0				
409	麻屋材木店																					0	0				0				
410	小林林産																					0	0				0				
411	田中製材工業			500	50																	50	25,000	1,500		500	27,000	○			10月1日
412																						0	0				0				
413																						0	0				0				
414																						0	0				0				
415																						0	0				0				
416																						0	0				0				
417																						0	0				0				
418																						0	0				0				
419																						0	0				0				
420																						0	0				0				
合計			50		50		0		0		0		120		0		0		0		0		220	91,500	1,500	0	2,000	95,000			

手数料(1部@¥50)	会団様	11,000
	木青連様	11,000
支払い金額	会団様⇒木青連!	84,000
	木青連様⇒共立	73,000

注: 上記金額は、税込み金額です。

5. 松本材青会

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
501	印出											360	80									80	28,800			500	29,300	○
502	エバラ													630	180							180	113,400			1,000	114,400	○
503	渡辺製材所																					0	0			0	0	○
504	上條製材工業																					0	0			0	0	○
505	丸山製材所																					0	0			0	0	○
506	筑北木材建設																					0	0			0	0	○
507	赤羽工業																					0	0			0	0	○
508	武居木材																					0	0			0	0	○
509	田中製材所(国興)																					0	0			0	0	○
510	大蔵木工																					0	0			0	0	○
511	征矢野建材														570	100						100	57,000			500	57,500	○
512	オガサワラ林業																					0	0			0	0	○
513	百瀬木材																					0	0			0	0	○
514	浅井木材	480	100																			100	48,000			500	48,500	○
515																						0	0			0	0	○
516																						0	0			0	0	○
517																						0	0			0	0	○
518																						0	0			0	0	○
519																						0	0			0	0	○
520																						0	0			0	0	○
合計		100		0		0		0		0		80	180		100		0		0		0	460	247,200	0	0	2,500	249,700	

9月24日
11月17日

8月31日

11月16日

手数料(1部@¥50)	会団様	23,000
	木青連様	23,000
支払い金額	会団様⇒木青連!	226,700
	木青連様⇒共立	203,700

注:上記金額は、税込み金額です。

6. 旧・南安アルプス会

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)		
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数								
602	一日市建設																					0	0				0		
603	藤岡建設																						0	0				0	
604	辰善木材																						0	0				0	
605	太田林業																						0	0				0	
606	会田建設																						0	0				0	
607	べんと屋																						0	0				0	
608	安曇木材協同組合																						0	0				0	
609	佐原建設																		760	40			40	30,400		500	30,900		
610	王子木材																						0	0				0	
611	浅野製材所																						0	0				0	
612	岡澤組																						0	0				0	
613	白馬平林建設																						0	0				0	
914	増田建設産業(有)																						0	0				0	
915	敦②木軸工房							320	60													60	19,200	500		500	20,200		
616																							0	0				0	
617																							0	0				0	
618																							0	0				0	
619																							0	0				0	
620																							0	0				0	
621																							0	0				0	
合計			0		0		0		0		60		0		0		0		0		40		0	100	49,600	500	0	1,000	51,100

○

10月15日

○

9月30日

○

手数料(1部@¥50)	会団様	5,000
	木青連様	5,000

支払い金額	会団様⇒木青連!	46,100
	木青連様⇒共立	41,100

注:上記金額は、税込み金額です。

7. 木曾

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		No.10978		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)		
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数								
701	松瀬工務店																					0	0				0		
702	大桑木材工業																						0	0				0	
703	池田木材																						0	0				0	
704	木曾五木工芸社														640	50							50	32,000		500		32,500	
705	進興工芸																						0	0				0	
706	佐郡木工所																						0	0				0	
707	山崎建設																						0	0				0	
708	井上														640	15							15	9,600		500		10,100	
709	のむら木材														630	100							100	63,000		500		63,500	
710	木曾協和産業																				430	50	50	21,500		500		22,000	
711	中村木材工業所																						0	0				0	
712	萩村製材所																						0	0				0	
713	中家製材所																						0	0				0	
714	榎木工製材所																						0	0				0	
715	田上桶店																						0	0				0	
716	古畑製材所																						0	0				0	
717	野尻木材工業所																						0	0				0	
718	栗山木工																						0	0				0	
719	下島木工																						0	0				0	
720																							0	0				0	
合計			0		0		0		0		0		0		165		0		0		0		50	215	126,100	0	0	2,000	128,100

9月17日
9月6日
9月3日
10月11日 **品番注意!**

1

手数料(1部@¥100) 木青連様 **21,500**

支払い金額 木青連様⇒共立 **106,600**

注:上記金額は、税込み金額です。

8. 個人

昨年度受注

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数						
801	池田													640	10					760	10					500	14,500
802	カクダイ製材所																						0				0
803	丸藤建設木材																						0				0
804																							0				0
805																							0				0
806																							0				0
807																							0				0
808																							0				0
809																							0				0
810																							0				0
811																							0				0
812																							0				0
813																							0				0
814																							0				0
815																							0				0
816																							0				0
817																							0				0
818																							0				0
819																							0				0
820																							0				0
	合計		0		0		0		0		0		0	10	0	10	0	0	0	0	0	20	14,000	0	0	500	14,500

8月31日

手数料(1部@¥100) 木青連様 **2,000**

支払い金額 木青連様⇒共立 **12,500**

注:上記金額は、税込み金額です。

9. 特殊

企業名	SP111		SB081												部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
	単価	部数	単価	部数																
901 都築木材	420	615	360	165															4,000	321,700
902																				0
合計		615		165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000	321,700

昨年度受注

9月4日 **品番注意!**

1部10円 手数料(販売差額) 木青連様 **7,800**

支払い金額 木青連様⇒共立 **313,900**

注:上記金額は、税込み金額です。

■総合リスト

企業名	No.11706 部数	No.11762 部数	No.10565 部数	No.10761 部数	No.10905 部数	No.10972 部数	No.11512 部数	No.11514 部数	No.10984 部数	指定外 部数	合計部数	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
1. 長野木材会	100	180	0	0	0	0	0	0	0	0	280	135,000	0	0	2,000	137,000
2. 高水若杉会	0	0	0	0	0	510	0	0	230	0	740	342,600	0	0	4,500	347,100
3. 上小木青会	0	0	0	0	0	0	110	0	0	0	110	69,300	0	0	500	69,800
4. 唐松会	50	50	0	0	0	120	0	0	0	0	220	91,500	1,500	0	2,000	95,000
5. 松本材青会	100	0	0	0	0	80	180	100	0	0	460	247,200	0	0	2,500	249,700
6. 南安アルプス会	0	0	0	0	60	0	0	0	40	0	100	49,600	500	0	1,000	51,100
7. 木曾	0	0	0	0	0	0	165	0	0	50	215	126,100	0	0	2,000	128,100
8. 個人	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	20	14,000	0	0	500	14,500
9. 特殊	615	165	0	0	0	0	0	0	0	0	780	317,700	0	0	0	317,700
合計	250	230	0	0	60	710	465	100	280	50	2,925	1,393,000	2,000	0	15,000	1,410,000

増減

昨年金額	134,200	2,800
昨年金額	387,900	-40,800
昨年金額	50,900	18,900
昨年金額	77,800	17,200
昨年金額	326,300	-76,600
昨年金額	57,600	-6,500
昨年金額	126,450	1,650
昨年金額	25,340	-10,840
昨年金額	339,000	-21,300

手数料(1部@¥50) 会団様 **95,500**
 (木曾及び個人 @¥100) 木青連様 **119,000**
 特殊分 木青連様 **8,400**

昨年金額	107,500	-12,000
昨年金額	132,600	-13,600
昨年金額	8,400	0

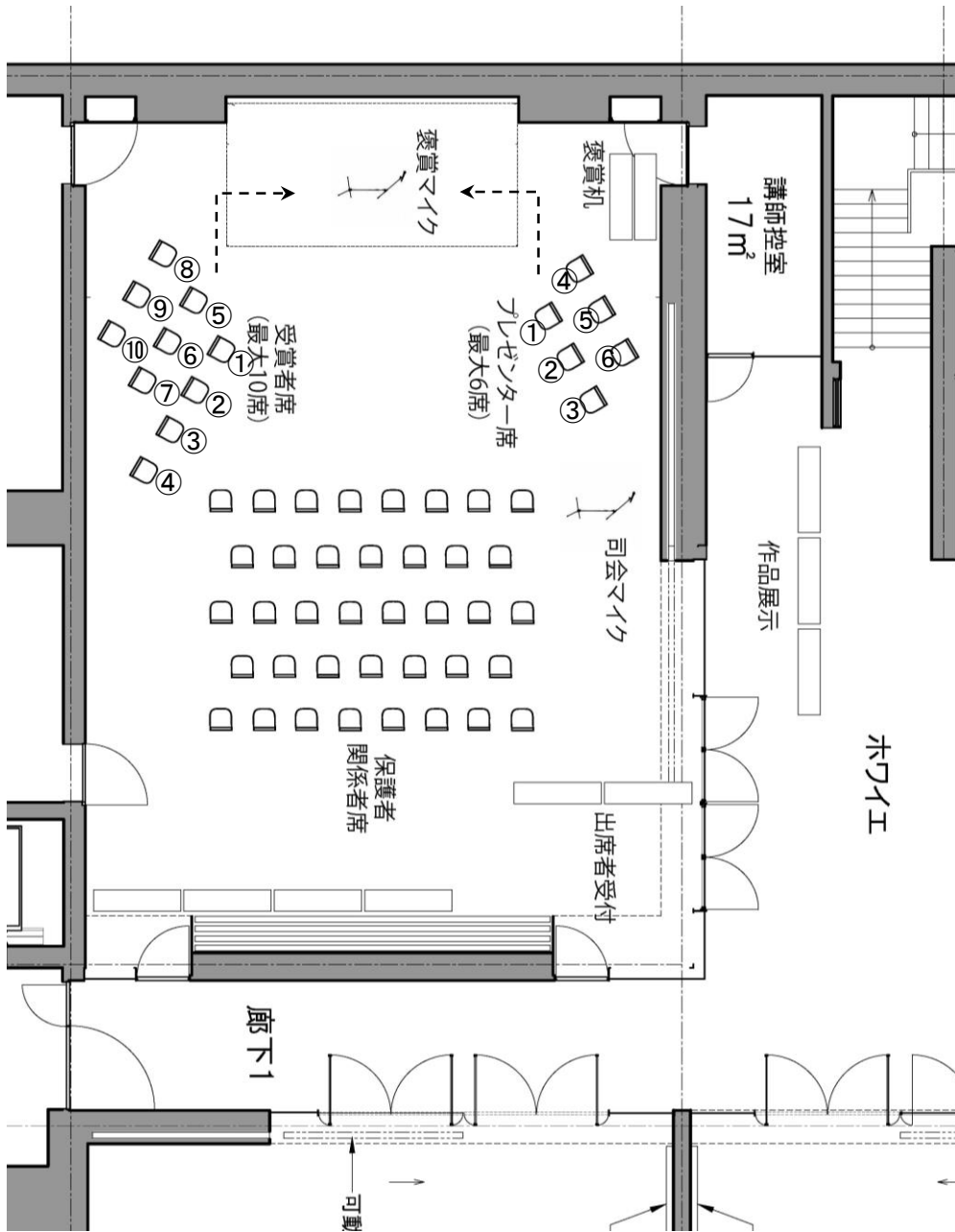
支払い金額 会団様⇒木青連 **996,800**
 特殊 **317,700**
 木青連様⇒共立 **1,187,100**

昨年金額	1,078,990	-82,190
昨年金額	339,000	-21,300
昨年金額	1,276,990	-89,890

注:上記金額は、税込み金額です。

令和3年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式

主	催	長野県木材青壮年団体連合会																																																																													
共	催	長野県、林野庁中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会																																																																													
後	援	長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社																																																																													
日	時	令和3年11月28日(日) 14:00 ~ 14:30																																																																													
場	所	長野県立美術館 B1F ホール (長野市)																																																																													
参	集	約52名 (表彰受賞者(同伴者含む)約36名+プレゼンター6名+木青連等関係者約10名)																																																																													
プ	レ	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> 長野県知事賞(最優秀賞) 青木 英明 様 長野県教育委員会賞 安松 大介 様 林野庁中部森林管理局賞 永瀬 庄栄 様 (公財)長野県緑の基金理事長賞 河西 光章 様 長野県木材協同組合連合会理事長賞 宮崎 正毅 様 長野県県産材振興対策協議会会長賞 宮崎 正毅 様 長野県木材青壮年団体連合会会長賞 田村 紘一 君 </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 企画幹兼課長補佐 長野県総合教育センター 専門主事 中部森林管理局 森林整備部 資源活用課 企画官 (公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 長野県木材協同組合連合会 理事長 長野県県産材振興対策協議会 会長 長野県木材青壮年団体連合会 会長 </td> </tr> </table>						長野県知事賞(最優秀賞) 青木 英明 様 長野県教育委員会賞 安松 大介 様 林野庁中部森林管理局賞 永瀬 庄栄 様 (公財)長野県緑の基金理事長賞 河西 光章 様 長野県木材協同組合連合会理事長賞 宮崎 正毅 様 長野県県産材振興対策協議会会長賞 宮崎 正毅 様 長野県木材青壮年団体連合会会長賞 田村 紘一 君	長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 企画幹兼課長補佐 長野県総合教育センター 専門主事 中部森林管理局 森林整備部 資源活用課 企画官 (公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 長野県木材協同組合連合会 理事長 長野県県産材振興対策協議会 会長 長野県木材青壮年団体連合会 会長																																																																						
長野県知事賞(最優秀賞) 青木 英明 様 長野県教育委員会賞 安松 大介 様 林野庁中部森林管理局賞 永瀬 庄栄 様 (公財)長野県緑の基金理事長賞 河西 光章 様 長野県木材協同組合連合会理事長賞 宮崎 正毅 様 長野県県産材振興対策協議会会長賞 宮崎 正毅 様 長野県木材青壮年団体連合会会長賞 田村 紘一 君	長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 企画幹兼課長補佐 長野県総合教育センター 専門主事 中部森林管理局 森林整備部 資源活用課 企画官 (公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 長野県木材協同組合連合会 理事長 長野県県産材振興対策協議会 会長 長野県木材青壮年団体連合会 会長																																																																														
日	程	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> 13:00~ 13:30~ 13:45~ 14:00~ 14:01~ 14:03~ 14:05~ 14:23~ 14:25~ 14:25~ 14:30 14:30~ </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> 集合、表彰式会場準備(木青連) 受付開始 受賞者、プレゼンター集合 1 開会 2 受賞者紹介、作品紹介(作文朗読は無し) 3 長野県木材青壮年団体連合会会長あいさつ 4 表彰式 ①最優秀賞(県知事賞) </td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> ・・・小学校低学年・高学年・中学生・特別支援学校(級)の部 ②長野県教育委員会賞 ③中部森林管理局賞 ④長野県緑の基金理事長賞 ⑤長野県県産材振興対策協議会賞 ⑥長野県木材協同組合連合会賞 ⑦長野県木材青壮年団体連合会賞 5 来賓祝辞(長野県林務部 青木企画幹) 6 閉会 7 記念写真撮影 8 終了 片付け </td> <td style="width: 10%; vertical-align: top; text-align: right;"> 4 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 </td> </tr> </table>						13:00~ 13:30~ 13:45~ 14:00~ 14:01~ 14:03~ 14:05~ 14:23~ 14:25~ 14:25~ 14:30 14:30~	集合、表彰式会場準備(木青連) 受付開始 受賞者、プレゼンター集合 1 開会 2 受賞者紹介、作品紹介(作文朗読は無し) 3 長野県木材青壮年団体連合会会長あいさつ 4 表彰式 ①最優秀賞(県知事賞)	・・・小学校低学年・高学年・中学生・特別支援学校(級)の部 ②長野県教育委員会賞 ③中部森林管理局賞 ④長野県緑の基金理事長賞 ⑤長野県県産材振興対策協議会賞 ⑥長野県木材協同組合連合会賞 ⑦長野県木材青壮年団体連合会賞 5 来賓祝辞(長野県林務部 青木企画幹) 6 閉会 7 記念写真撮影 8 終了 片付け	4 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品																																																																				
13:00~ 13:30~ 13:45~ 14:00~ 14:01~ 14:03~ 14:05~ 14:23~ 14:25~ 14:25~ 14:30 14:30~	集合、表彰式会場準備(木青連) 受付開始 受賞者、プレゼンター集合 1 開会 2 受賞者紹介、作品紹介(作文朗読は無し) 3 長野県木材青壮年団体連合会会長あいさつ 4 表彰式 ①最優秀賞(県知事賞)	・・・小学校低学年・高学年・中学生・特別支援学校(級)の部 ②長野県教育委員会賞 ③中部森林管理局賞 ④長野県緑の基金理事長賞 ⑤長野県県産材振興対策協議会賞 ⑥長野県木材協同組合連合会賞 ⑦長野県木材青壮年団体連合会賞 5 来賓祝辞(長野県林務部 青木企画幹) 6 閉会 7 記念写真撮影 8 終了 片付け	4 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品																																																																												
備	考	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="6">■受賞者</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">最優秀賞(長野県知事賞)</td> <td style="width: 15%;">等々力 蒼乃</td> <td style="width: 15%;">とどりき あおの</td> <td style="width: 15%;">4</td> <td style="width: 15%;">名</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>松下 世</td> <td>まつした せい</td> <td>4</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>菊池 桜介</td> <td>きくち おおすけ</td> <td>3</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>大田 晃大</td> <td>おおた あきひろ</td> <td>3</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県教育委員会賞</td> <td>北原 彩葉</td> <td>きたはら あやは</td> <td>4</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部森林管理局賞</td> <td>加藤 新大</td> <td>かとう あらた</td> <td>4</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(公財)長野県緑の基金理事長賞</td> <td>浅井 太鷗</td> <td>あさい たお</td> <td>3</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県県産材振興対策協議会賞</td> <td>柳澤 輝磨</td> <td>やなぎさわ てるま</td> <td>3</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県木材協同組合理事長賞</td> <td>畔地 美心</td> <td>あざち みこ</td> <td>5</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県木材青壮年団体連合会会長賞</td> <td>関 俐都</td> <td>せき りと</td> <td>3</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>36</td> <td>名</td> <td></td> </tr> </table>						■受賞者						最優秀賞(長野県知事賞)	等々力 蒼乃	とどりき あおの	4	名		同上	松下 世	まつした せい	4	名		同上	菊池 桜介	きくち おおすけ	3	名		同上	大田 晃大	おおた あきひろ	3	名		長野県教育委員会賞	北原 彩葉	きたはら あやは	4	名		中部森林管理局賞	加藤 新大	かとう あらた	4	名		(公財)長野県緑の基金理事長賞	浅井 太鷗	あさい たお	3	名		長野県県産材振興対策協議会賞	柳澤 輝磨	やなぎさわ てるま	3	名		長野県木材協同組合理事長賞	畔地 美心	あざち みこ	5	名		長野県木材青壮年団体連合会会長賞	関 俐都	せき りと	3	名				合計	36	名	
■受賞者																																																																															
最優秀賞(長野県知事賞)	等々力 蒼乃	とどりき あおの	4	名																																																																											
同上	松下 世	まつした せい	4	名																																																																											
同上	菊池 桜介	きくち おおすけ	3	名																																																																											
同上	大田 晃大	おおた あきひろ	3	名																																																																											
長野県教育委員会賞	北原 彩葉	きたはら あやは	4	名																																																																											
中部森林管理局賞	加藤 新大	かとう あらた	4	名																																																																											
(公財)長野県緑の基金理事長賞	浅井 太鷗	あさい たお	3	名																																																																											
長野県県産材振興対策協議会賞	柳澤 輝磨	やなぎさわ てるま	3	名																																																																											
長野県木材協同組合理事長賞	畔地 美心	あざち みこ	5	名																																																																											
長野県木材青壮年団体連合会会長賞	関 俐都	せき りと	3	名																																																																											
		合計	36	名																																																																											



■プレゼンター

- ①青木 県林務部企画幹
- ②安松 総合教育センター専門主事
- ③永瀬 中部森林管理局企画官
- ④河西 緑の基金常務理事兼事務局
- ⑤宮崎 県木連理事長
- ⑥田村 木青連会長

■受賞者

- ①等々力 蒼乃さん
- ②松下 世さん
- ③菊池 桜介さん
- ④大田 晃大さん
- ⑤北原 彩葉さん
- ⑥加藤 新大さん
- ⑦浅井 太鷗さん
- ⑧柳澤 輝磨さん
- ⑨畔地 美心さん
- ⑩関 俐都さん

(参考：昨年度の状況)



[令和3年度]

第44回長野県児童・生徒木工工作コンクール最優秀賞・特別賞受賞作品

1. 各賞

◆最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	かんなくずファッション
学校名	信州大学教育学部附属松本小学校
学年	3年
氏名	等々力 蒼 乃



作品名	めでたい
学校名	南木曾町立南木曾小学校
学年	6年
氏名	松 下 世



作品名	写真入れつき時計
学校名	原村立原中学校
学年	1年
氏名	菊 池 桜 介



作品名	ぼくの住みたいおうち
学校名	大町市立大町東小学校
学年	4年
氏名	大 田 晃 大



◆長野県教育委員会賞

作品名	音ぶのかさたて
学校名	南箕輪村立南部小学校
学年	4年
氏名	北 原 彩 葉



◆林野庁中部森林管理局長賞

作品名	タカ
学校名	南木曾町立南木曾小学校
学 年	5年
氏 名	加 藤 新 大



◆公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	バベルの塔
学校名	御代田町立御代田北小学校
学 年	5年
氏 名	浅 井 太 鷗



◆長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	イルカ
学校名	茅野市立湖東小学校
学 年	6年
氏 名	柳 澤 輝 磨



◆長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	岩魚
学校名	上田市立武石小学校
学 年	2年
氏 名	畔 地 美 心



◆長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	サッカースパイク
学校名	軽井沢町立軽井沢西部小学校
学 年	5年
氏 名	関 俐 都



令和3年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール 内訳

	令和3年度	令和2年度	対前年比
総参加人数	4,347名	2,913名	1,434名

参加学校数	136校	139校	-3校
小学校	134校	138校	-4校
盲・ろう・養護学校	0校	1校	-1校
中学校	2校	1校	1校

審査会出品数	68点	75点	-7点
入選(上記の1~7)	10点	9点	1点
優秀賞	10点	10点	0点
佳作	539点	368点	171点
努力賞	3,788点	2,528点	1,260点

総作品数	4,347点	2,915点	1,432点
------	--------	--------	--------

長野県木材青壮年団体連合会
会 長 田村 紘一 様

長野県県産材振興対策協議会
会 長 宮 崎 正 毅

令和3年度県産材利用拡大に向けた要請活動の実施について

日頃、県産材の利用拡大に格別の御配意を賜り、深く感謝申し上げます。
飯山市では、道の駅の施設整備に向け、実施設計が進められているところです。
つきましては、当事業における県産材利用の促進に向け、下記により要請活動を実施しますので、御多用中恐縮ですが、御参加いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和3年10月13日（水） 午後1時から午後1時30分まで
(12時45分までに市役所1階の「市民ホール」に集合してください。)
- 2 場 所 飯山市役所
飯山市大字飯山1110-1 TEL 0269-62-3111
- 3 要 望 先 飯山市長 足立 正則 様 (商工観光課)
- 4 要 望 書 別添 (案) のとおり
- 5 そ の 他 準備の都合上、出欠及び要望書への御意見等を、別紙により10月1日（金）
までに御連絡（メール、FAX可）下さい。
なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者は各団体1名でお願い
します。

長野県県産材振興対策協議会
(長野県木材協同組合連合会内)
担当：事務局長 柴田昌志
TEL：026-226-1471
FAX：026-228-0580
E-mail：nkenmokuren@siren.ocn.ne.jp

飯山市長

足立 正則 様

要望書(案)

令和3年10月13日

長野県県産材振興対策協議会

「飯山市道の駅」の施設整備に係る県産材の活用促進について

県土の 8 割を占める森林は、県土の保全、水資源のかん養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの公益的な機能を有しているだけでなく、再生可能な資源である木材を生産する機能を併せ持っています。

本県の森林は、人工林を中心に充実しつつあり、本格的な利用期を迎えています。しかし、木材価格は、現在ウッドショックの影響により上昇していますが、昭和 55 年をピークとした長期的な下落により、林業所得が減少し、森林所有者の経営意欲の低下につながっています。加えて木材産業は、国産材の生産・加工・流通構造改革の遅れなどから、厳しい経営状況が続いています。このような状況が継続すれば、森林資源の活用や森林整備が適切に行われず、森林の有する多面的機能発揮の低下も懸念されます。

こうした中、国においては、平成 31 年に森林経営管理法が施行され、昨年度からの森林環境譲与税の導入とともに、新たな森林管理システムが始動しています。また、本年 6 月には、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させる新たな森林・林業基本計画が閣議決定されました。加えて、2050 年カーボンニュートラルを実現するために、「脱炭素社会実現に資する等のための建築物等における木材の利用促進に関する法律」が本年度制定され、これまでの公共建築物に加え一般建築物に

も木材を活用する方向性が示されたところです。

これを機に、「植えて、育てて、伐って、使う」循環システムの構築に向け、関係者が一丸となり、一層努力する必要があります。

森林資源は着実に増加し、主伐期を迎えつつありますが、日常的に木材を利用する機会が減少し、県内の製材品出荷量は低迷しています。長野県では、しあわせ信州創造プラン 2.0 において、住宅・公共建築物等への県産材の利用促進により、地消地産による地域内経済循環を促進することとしています。

また、国連では、17 項目の持続可能な開発目標 (SDG s) を掲げ、持続可能な地域づくりを推進しており、森林・林業の振興、木材利用の推進は、このうち 15 項目の達成に寄与するといわれています。

このような状況を踏まえ、貴職が計画されております「道の駅」の施設の整備に当たりましては、躯体・内装・外構・調度品等の木質化を御検討いただき、可能な限り長野県産木材を使用していただきますよう要請いたします。

また、暖房施設等の整備にあたりましては、木質バイオマスをエネルギー源としたボイラー・ストーブ等の施設導入をご検討いただきますよう、併せてお願い申し上げます。

令和 3 年 1 0 月 1 3 日

長野県県産材振興対策協議会
会 長 宮 崎 正 毅

長野県県産材振興対策協議会 構成団体名

＜ 団 体 名 ＞	＜ 職 名 ＞	＜ 氏 名 ＞
林野庁 中部森林管理局	局 長	上 練 三
長野県 林務部	部 長	井 出 英 治
長野県木材協同組合連合会	理事長	宮 崎 正 毅
長野県森林組合連合会	会 長	藤 原 忠 彦
長野県木材青壮年団体連合会	会 長	田 村 紘 一
長野県集成材工業会	会 長	齋 藤 健
信州木材認証製品センター	理事長	宮 崎 正 毅
長野県産間伐材供給センター協議会	会 長	藤 原 忠 彦
長野県納材協会	会 長	中 野 安 久

事務局 長野市岡田町30-16 (林業センタービル内)

長野県県産材振興対策協議会

(長野県木材協同組合連合会内 電話：026-226-1471)

令和3年度 第2回定例理事会議 議事録 (案)

日 時 令和3年8月7日

場 所 長野県林業センター

【出席者】

- | | | | | | |
|---------|-------|-------|----------|------|--------|
| ◎ 会 長 | 田村 紘一 | | | | |
| 直前会長 | 大蔵 俊介 | | | | |
| 監 事 | 澁澤 一吉 | | | | |
| 監 事 | 大和 俊英 | 〈欠席〉 | | | |
| ◎ 代行副会長 | 宮崎 淳貴 | | | | |
| ◎ 副会長 | 山浦 豊弘 | 〈欠席〉 | | | |
| ◎ 副会長 | 池田 剛 | | | | |
| ◎ 北信木青連 | 会団長 | 坂田 庄蔵 | | | |
| ◎ 北信木青連 | 副会団長 | 峯村 亮 | | | |
| ◎ 東信木青連 | 会団長 | 小林 寿徳 | | | |
| ◎ 東信木青連 | 副会団長 | 由井 正宏 | | | |
| ◎ 松本材青会 | 会団長 | 田中 一興 | | | |
| ◎ 松本材青会 | 副会団長 | 石亀 道一 | | | |
| ◎ 事務局長 | 中嶋 章 | | | | |
| 事務局次長 | 宮澤 遥 | | | | |
| 事務局次長 | 由井 正宏 | | | | |
| 事務局主事 | 松本 寿弘 | | | | |
| 日本木青連 | 出向 | 常任理事 | 北信越地区協議会 | 会長 | 田中 一興 |
| 日本木青連 | 出向 | 理事 | 会団長 | | 田村 紘一 |
| 日本木青連 | 出向 | 理事 | W・D委員会 | 副委員長 | 土倉 宣也 |
| 日本木青連 | 出向 | 理事 | 広報戦略委員会 | 副委員長 | 印出 晃 |
| 日本木青連 | 出向 | 理事 | 木材活用委員会 | 副委員長 | 田中 俊章 |
| 日本木青連 | 出向 | | W・D委員会 | 委員 | 峯村 亮 |
| 日本木青連 | 出向 | | 広報戦略委員会 | 委員 | 大蔵 俊介 |
| 日本木青連 | 出向 | | 木材活用委員会 | 委員 | 松木 達征 |
| 日本木青連 | 出向 | | 広報戦略委員会 | 委員 | 大和 俊英 |
| | | | オブザーバー | | 日野原 和仁 |

出席者数 13 名 ◎印は理事

議事進行 司会 池田副会長 コロナ渦において会歌は歌わず拝聴。
綱領は1名が代表して唱和する。 綱領唱和 東信木青連 小林会団長

資料確認及び字句訂正

- ・ P22 議長指名 山浦副会長→宮崎代行副会長へ訂正
- ・ P22 定足数確認 理事13名中、理事7名、出席者13名 欠席8名を
理事11名中、出席理事7名 欠席理事4名に変更・訂正
- ・ P48 副会団長 山浦豊弘→副会団長 由井正宏に訂正

連絡報告事項

- ・ 会議・事業経過報告 田村会長より説明
- ・ 日本木青連からの連絡報告 田村会長より説明

出向者活動報告

- ・ 田中一興さん 9月に計画している北信越協議会については現段階ではリアル会議を予定
- ・ 宮崎代行副会長 令和4年オリジナルカレンダーについての案内
- ・ 日野原さん補足 9月30日締め切り 11月に配布予定

正副会長・事務局報告事項

田村会長 会費が振り込まれていない会団がある為、8月末までの振込をお願いしたい。
日野原さん 長野市農業フェアについて説明。今年は産業フェアとセットで9月23日
長野市ビックハットで行う予定。木工教室をお願いしたい。
松本主事 リニア新幹線に関わる要望書を飯田市長に提出した事を説明。
県産材の利用を飯田市長に要望。
中嶋事務局長 令和3年度会員手帳について説明。

議長指名 田村会長より宮崎代行副会長を指名

議事 議長 宮崎代行副会長

議事録作成人指名 中嶋事務局長

定足数確認 理事11名中、出席理事10名 欠席理事1名 成立致します。

審議事項

第1号議案 第1回定例理事会議事録(案)承認の件
田村会長より議事録の字句修正について説明

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 第62回県会員中信大会収支決算（案）承認の件
6月15日 中信大会・総会を書面にて行った事を説明
第62回中信大会の収支決算報告
田村会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 令和3年度 第44回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画（案）
承認の件
池田副会長より上程

田中一興さん 審査会の持ち込みは各部門の合計が10作品なのか？
松本事務局主事 各部門の合計が10作品となります。
宮崎代行副会長 表彰式（予定）となっているが、日程は確定していないのか？
松本事務局主事 11月28日に仮予約してある状態。今回、承認いただければ
日程の確定をする予定です。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 カラマツフェス 木工教室事業計画（案）承認の件
田村会長・小林会団長より上程

坂田会団長 キットを余らせたくないのであれば予備券を作ったの対応はどうか
池田副会長 より多くの人に体験してもらう為に、参加の制限をしてはどうか
澁澤監事 ルールを設定して、試験運用してみてもどうか
松本主事 行列に対応する為、整理券の発行を検討してみてもどうか
澁澤監事 1家1台に制限すればどうか
田村会長 作品制作の前に木青連等の説明、チラシの配布を行い、1回1時間
30分を見込む。1家族あたりのキットの数に制限を設け、1家族
1セットとし、多くの人に体験してもらう。
田中会団長 カラマツフェスでお弁当は出るのか
田村会長 飲食ブースがあるのでお弁当は出ない。カラマツフェスに限らず、
昼食費は会が負担する。
P41 支出予算（案）に備品・雑費等 17,000円に変更する。それ
に伴い支出合計も変更する。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 国営アルプスあずみの公園 木工教室（案）承認の件
田村会長より上程

雨天の場合はレンタル棟を利用する。

P43 事業計画 材料（イスキット 60 予備 10）→（イスキット 70）に変更
また、実施プログラムについても 12 人→13 人に変更

挙手にて採決 挙手多数 承認

第6号議案 第3回定例理事会開催日(案) 承認の件
田村会長より上程

日 時 令和3年11月28日(日)

場 所 長野県立美術館

スケジュール 正副会長・事務局長会議 9:30~10:00

理事会 10:10~12:00

※木工工作コンクール表彰式との同日開催となります。

挙手にて採決 挙手多数 承認

協議事項 日本木青連出向者について

田村会長より

- ・令和5年度日本木青連会長に島田さんを選出する事についての進捗状況を説明
- ・長野県木青連会長職及び役員の任期の変更案 1期2年とする変更案の説明

会団事業活動報告

北信木青連 坂田会団長

東信木青連 小林会団長

松本材青会 田中会団長

監事講評 澁澤監事

議事録作成人 令和3年度 事務局長 中嶋 章

信州山の日2021(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 副会長 山浦 豊弘

事業名称	信州山の日2021 木工教室																				
担当副会長	山浦 豊弘																				
事業主体	長野県木材青壮年団体連合会																				
実施日時	令和3年 7月25日(日) 10:00~16:00																				
実施場所	国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区) ※雨天決行																				
対象者	信州山の日イベント来場者																				
趣旨・目的	県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)にて7月中旬から8月下旬かけて、イベントを開催。 ・長野県林務部は、国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)で開催されるイベントの中で、7/25(日)信州山の日イベントを実施。木青連は、「信州山の日イベント」の中で木工教室を開催。 ・県林務部は、隣接テントにて、箸づくりを行った。 ・木青連は、イス作りを行った。 イス作り(イスキット) 60セット <p>■スケジュール</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>8:30~</td> <td>集合</td> </tr> <tr> <td>8:30~9:30</td> <td>材料搬入・準備</td> </tr> <tr> <td>10:00~</td> <td>オープン</td> </tr> <tr> <td>10:00~</td> <td>木工教室開始</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①10:00-11:00 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②11:00-12:00 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③12:00-13:00 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④13:00-14:00 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤14:00-15:00 12組</td> </tr> <tr> <td>15:00~</td> <td>撤収</td> </tr> </table> <p>■準備等</p> <ul style="list-style-type: none"> イスキット・釘：東信木青連(佐久支部) 道具・コンパネ・シート：松本材青会 テント・テーブル・イス：アルプスあづみの公園 	8:30~	集合	8:30~9:30	材料搬入・準備	10:00~	オープン	10:00~	木工教室開始		①10:00-11:00 12組		②11:00-12:00 12組		③12:00-13:00 12組		④13:00-14:00 12組		⑤14:00-15:00 12組	15:00~	撤収
8:30~	集合																				
8:30~9:30	材料搬入・準備																				
10:00~	オープン																				
10:00~	木工教室開始																				
	①10:00-11:00 12組																				
	②11:00-12:00 12組																				
	③12:00-13:00 12組																				
	④13:00-14:00 12組																				
	⑤14:00-15:00 12組																				
15:00~	撤収																				

実施上の問題点：・開門してすぐに、テント受付前に長蛇の列ができ想定外で対応が大変であった。
今後の課題など

- ・そのため、1家族で製作できる個数を上限2個までと急遽した。
- ・それでも、製作できない方が大勢いた。
- ・製作できなかったお客さんが、どうしても作りたいということで、予備で1セット作ることが可能だったので製作をしていただいたが、参加できなかった他のお客様から苦情があった。
- ・今後は、事前にしっかりルールを決めて実施することが必要。

決算：別紙「決算書」のとおり

担当者：副会長 山浦 豊弘

外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870

添付資料：事業報告
決算書

信州山の日2021（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	P R 事業費	100,000	97,412	
収入合計		100,000	97,412	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費	49,500	49,500	県産材（杉）825円（税込）×60セット
	材料カット代	9,900	9,900	165円（税込）×60セット
	搬入費	15,000	0	
	備品、雑費等	20,000	14,912	釘代、昼食代等
	印刷費	5,600	23,100	資料印刷（人と木）
支出合計		100,000	97,412	（税込）

信州山の日イベント 2021 [木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】信州山の日イベント 2021 木工教室
- 【実施日時】令和3年7月25日(日) 10:00~15:00
- 【実施場所】国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)
- 【対象者】一般(信州山の日イベント 来場者) 178名(60組)(子供81名、大人97名)
- 【担当】山浦豊弘
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使い方などを知っていただく。
- 【事業内容】国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)が主催するイベントの中で、長野県林務部が実施した「信州山の日イベント2021」で木工教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット) 60セット
《1回毎の講座内容》
①森林の話 ②イスの作り方 ③イス作り
(木青連は、参加者のイスづくりをサポート)
《準備品》
イスキット60セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/テント(主催者用意)/釘、紙やすり/コンパネ 12枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券
- 【スケジュール】7月25日 8:30~ 集合・材料搬入
10:00 オープン
10:00~15:00 木工教室
15:00~ 片づけ、搬出
- 《木工教室開催時間》
- | | | |
|-----|-------------|-----|
| 1回目 | 10:00~11:00 | 12組 |
| 2回目 | 11:00~12:00 | 12組 |
| 3回目 | 12:00~13:00 | 12組 |
| 4回目 | 13:00~14:00 | 12組 |
| 5回目 | 14:00~15:00 | 12組 |

【当日の風景】



2021長野市農業フェア(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称：2021長野市農業フェア 木工教室

担当副会長：田村 紘一

事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

実施日時：令和3年10月23日(土) 9:00～14:00

実施場所：長野市 ビッグハット 玄関前広場

対象者：長野市農業フェア来場者

趣旨・目的：県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使われ方などを知っていただく。

事業内容：・長野市農業祭実行委員会が主催する「2021長野市農業フェア」の中で木工教室・木育教室を開催。

座面部分を唐松材に変更。

・イス作りの木工工作体験を行った。

・50セット

■当日スケジュール

8:30 集合

8:30～ 準備

9:00～ 木工教室開始

14:00～ 撤収

※新型コロナウイルス感染症対策をして実施しました。

■準備等

10月中旬 椅子キット作成(東信木青連佐久支部)

10月23日(土)実施

■木青連

・材料(東信木青連佐久支部で用意)

・木工工作道具(北信木青連)

・ブルーシート(北信木青連)

・コンパネ(北信木青連)

・掃除道具(ほうき、ゴミ袋等)(北信木青連)

実施上の問題点：・1家族1脚限定で行い予定だったが、最初の受付をされたお客様から、事前
今後の課題など にイベント主催者へ連絡して聞かれたときは、1人1脚といわれたとのこと
で、通常通り1人1脚で行った。・天気は曇り時々雨模様で寒い中でしたが、予定数を完了することができ、
大勢の方に参加いただけた。

決算：別紙「決算書」のとおり

担当者：会長 田村 紘一

外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870

添付資料：事業報告
決算書

2021長野市農業フェア（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	P R 事業費	74,500	49,500	
収入合計		74,500	49,500	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費 椅子部材（すぎ）	41,250	41,250	県産材（杉）イス材料825円×50セット
	材料加工費	8,250	8,250	イス材料加工165円×50セット
	運搬費	10,000	0	運搬費（搬入・搬出）
	印刷費	5,000	0	受付簿、整理券印刷等
	雑費	10,000	0	
支出合計		74,500	49,500	（税込）

2021 長野市農業フェア [木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】2021 長野市農業フェア 木工教室
- 【実施日時】令和3年10月23日(土) 9:00~14:00
- 【実施場所】長野市 ビッグハット 玄関前広場
- 【対象者】一般(長野市農業フェア 来場者 96名(50組)(子供45名、大人51名))
- 【担当】日野原 和仁
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使われ方などを知っていただく。
- 【事業内容】長野市農業祭実行委員会が主催する「2021 長野市農業フェア」の中で木工教室・木育教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット) 50セット
①森林の話し ②イスの作り方 ③イス作り
(木青連は、参加者へ①~③の説明とイスづくりをサポート)
《準備品》
イスキット50セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/
テント(主催者側)/コンパネ10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券
- 【スケジュール】10月23日 8:30~ 集合・材料搬入準備
9:00 オープン
9:00~14:30 木工教室
14:30~ 片づけ、搬出

【当日の風景】



カラマツフェス2021(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称：カラマツフェス 木工教室
 担当副会長：田村 紘一
 事業主体：長野県木材青壮年団体連合会
 実施日時：令和3年10月24日(日) 9:00～17:00
 実施場所：佐久市 駒場公園多目的広場
 対象者：カラマツフェス来場者
 趣旨・目的：県産材（カラマツ・杉）の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

事業内容：
 ・佐久青年会議所が主催する「カラマツフェス」の中の木工教室を開催。
 ・カラマツフェスということもあり、杉材だけではなくカラマツ材を使用。座面部分を唐松材に変更。
 ・イス作り（イスキット）
 ・50セット
 ・1セット1,000円で販売

■当日スケジュール

8:00 集合
 8:10～8:45 準備
 9:00～ カラマツフェス開始
 9:15～ 木工教室開始
 ① 9:15～10:30 10組
 ② 10:30～11:45 11組
 ③ 13:00～14:15 11組
 ④ 14:15～15:30 10組
 ⑤ 15:30～16:45 9組
 17:00～ 撤収

■新型コロナウイルス感染症対策をして実施しました。

■準備等

10月中旬 椅子キット作成
 10月24日(日) 実施

■木青連 ※材料、道具一式は東信木青連佐久支部で用意

- ・材料
- ・木工工作道具（ノコギリ、カナヅチ、釘抜き、釘、紙ヤスリ、キリ）
- ・ブルーシート
- ・コンパネ
- ・掃除道具（ほうき、ゴミ袋等）
- ・スタッフの昼食（キッチンカーブース等を利用）

実施上の問題点：・1家族1脚限定、1脚1,000円で販売し、大勢の親子に参加いただいた。
 今後の課題など：・カラマツフェス自体が初めてのイベントということもあり、どのくらいのお客が来場するかわからず今回は50セットで様子を見たが、次回も開催の際は増やしていいのではないかな。

決算：別紙「決算書」のとおり

担当者：会長 田村 紘一

外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870

添付資料：事業報告
 決算書

カラマツフェス2021（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	販売事業費	50,000	51,000	51セット×1,000円
木青連本会計	雑費	10,000	10,000	お弁当代
収入合計		60,000	61,000	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費	27,500	27,500	県産材（唐松・杉）550円(税込)×50セット
	材料カット代	8,250	8,250	165円(税込)×50セット
	搬入費	3,000	3,000	運搬費（搬入・搬出）
	備品、雑費等	17,000	10,000	お弁当代
	印刷費	4,250	0	受付簿、整理券印刷等
支出合計		60,000	48,750	(税込)

収支差引額（収入－支出）	12,250	※本会計へ（雑収入）
--------------	--------	------------

カラマツフェス [木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】カラマツフェス 2021 木工教室
- 【実施日時】令和3年10月24日(日) 9:00~17:00
- 【実施場所】佐久市 駒場公園多目的広場
- 【対象者】一般(カラマツフェス 来場者) 136名(51組)(子供73名、大人63名)
- 【担当】田村 紘一
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】県産材(カラマツ・杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使い方などを知っていただく。

- 【事業内容】佐久青年会議所が主催する「カラマツフェス」の中の木工教室を開催。カラマツフェスということもあり、杉材だけではなくカラマツ材(座面部分)を使用。ミニ椅子づくり(イスキット) 51セット
《1回毎の講座内容》
①森林の話し ②イスの作り方 ③イス作り
(木青連は、参加者のイスづくりをサポート)

《準備品》

イスキット 51セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/
コンパネ 10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

- 【スケジュール】10月24日 8:00~ 集合・材料搬入準備
9:00 オープン
9:15~17:00 木工教室
17:00~ 片づけ、搬出

《木工教室開催時間》

1回目	9:15~10:30	10組
2回目	10:30~11:45	11組
3回目	13:00~14:15	11組
4回目	14:15~15:30	10組
5回目	15:30~16:45	9組

【当日の風景】



国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称：国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）木工教室
 担当副会長：田村 紘一
 事業主体：長野県木材青壮年団体連合会
 実施日時：令和3年10月30日（土） 10：00～16：00
 実施場所：国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区） ※雨天決行
 対象者：国営アルプスあづみの公園イベント来場者
 趣旨・目的：県産材（杉）の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使われ方などを知っていただく。

事業内容：・7月25日に「信州山の日」イベントで木工教室を大町市国営アルプスあづみの公園にて開催しました。当日は大盛況ということもあり秋のイベントでも是非出展頂きたいとオファーを頂き開催した。
 ・イス作りの木工工作体験を行った。
 ・65セット（材料70セット分準備）

■当日スケジュール

8：30 集合
 8：30～ 準備
 10：00～ 木工教室開始
 ①10：00～11：10 13人
 ②11：10～12：20 13人
 ③12：20～13：30 14人
 ④13：30～14：40 14人
 ⑤14：40～15：50 12人
 16：00～ 片付け・搬出

※新型コロナウイルス感染症対策をして実施しました。

■準備等

10月中旬 椅子キット作成（東信木青連佐久支部）
 10月30日（土）実施
 （あづみの公園）
 ・テント、テーブル、イス
 （木青連）
 ・材料、釘（東信木青連佐久支部で用意）
 ・木工工作道具（松本材青会）
 ・ブルーシート（松本材青会）
 ・コンパネ（松本材青会）
 ・掃除道具（ほうき、ゴミ袋等）（松本材青会）

実施上の問題点：・1家族1脚限定で行った。
 今後の課題など：・大勢の方に参加いただけた。
 ・夏ほど、開始早々に全部予約が埋まることはなく、各開始時間前までに順次うまる感じで、受付も順調で予定数も全部完了できた。

決算：別紙「決算書」のとおり

担当者：会長 田村 紘一

外部協力者：（株）共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL：026-238-8877 FAX：026-238-8870

添付資料：事業報告
 決算書

国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	P R 事業費	104,300	74,052	
収入合計		104,300	74,052	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費	57,750	57,750	県産材（杉）イス材料825円×70セット
	材料加工代	11,550	11,550	イス材料加工165円×70セット
	搬入費	15,000	0	運搬費（搬入・搬出）
	備品、雑費等	20,000	4,752	釘
支出合計		104,300	74,052	(税込)

国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）[木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区） 木工教室
- 【実施日時】令和3年10月30日（日） 10：00～16：00
- 【実施場所】国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）
- 【対象者】一般（国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区） 来場者）
195名（66組）（子供89名、大人106名）
- 【担当】田村 紘一
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】県産材（杉）の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使われ方などを知っていただく。
- 【事業内容】国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）が主催する秋のイベントの中で木工教室を開催。
ミニ椅子づくり（イスキット） 66セット
《1回毎の講座内容》
①森林の話し ②イスの作り方 ③イス作り
（木青連は、参加者のイスづくりをサポート）
《準備品》
イスキット70セット/道具（カナヅチ、釘抜き等）/釘、紙やすり/
テント（主催者側）/コンパネ13枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券
- 【スケジュール】10月30日 8：30～ 集合・材料搬入準備
10：00 オープン
10：00～16：00 木工教室
16：00～ 片づけ、搬出
- 《木工教室開催時間》
- | | | |
|-----|-------------|-----|
| 1回目 | 10：00～11：10 | 13組 |
| 2回目 | 11：10～12：20 | 13組 |
| 3回目 | 12：20～13：30 | 14組 |
| 4回目 | 13：30～14：40 | 14組 |
| 5回目 | 14：40～15：50 | 12組 |

【当日の風景】



役員任期について

★ 議案事項

議案作成者

会長 田村 紘一

 議案名称：役員任期の1期2年について

 担当：田村 紘一

 事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

 実施予定日時：令和4年度実施

 審議場所：理事会・総会

 対象者・資格者：長野県木青連会員

 趣旨・目的：現在、役員任期は1年とされています。しかし近年、会員の減少に伴い周り順とはいえ、1年交代ではやり手がいなくなる現象がすでにおきつつあります。令和5年度には日本木青連会長の選出、令和6年度には全国会員長野大会と控えている中、会の存続、会の発展のためにも役員任期の1期2年を提案します。

内容：・長野県木青連役員1期1年から1期2年の変更

- 対象者：(1) 会長
-
- (2) 直前会長
-
- (3) 会長代行副会長
-
- (4) 副会長
-
- (5) 事務局長
-
- (6) 理事
-
- (7) 監事

・会則変更

 現在： 役員任期はすべて1年とし総会において選任及び解任される。
 年度途中で役員に選任された者は当該年度を任期とする。

 変更後：役員任期はすべて2年とし総会において選任及び解任される。
 年度途中で役員に選任された者は当該年度を任期とする。

 実施上の問題点：・協議審議内容の詳細検討・決定
 ・全体の流れ…対象者への通知・会則変更・総会議決

第4回定例理事会開催(案)

※ 北信越地区協議会長野大会との同日開催となります。

日 時 令和4年2月19日(土)

第3回定例理事会

[場所]	JA松本ハイランド 松本市会館 〒390-0815 松本市深志2丁目1番1号 TEL 0263-87-7483	
[スケジュール]	正副会長・事務局長会議	10:00～10:20
	理事会	10:30～12:30

北信越地区協議会長野大会

[場所]	JA松本ハイランド 松本市会館 〒390-0815 松本市深志2丁目1番1号 TEL 0263-87-7483	
[スケジュール]	受付	14:30～
	北信越地区協議会	15:00～
	記念講演 パネルディスカッション	16:30～
	大会終了	18:00
	懇親会	19:00～

次年度役員選考委員会 令和4年度役員・出向者(案)

■長野県木青連 役員

長野県木青連	会長	田村 紘一 君
長野県木青連	代行副会長	宮崎 淳貴 君
長野県木青連	副会長	山浦 豊弘 君
長野県木青連	副会長	池田 剛 君
長野県木青連	事務局長	中嶋 章 君
北信木青連	会団長	坂田 庄蔵 君
	副会団長	峯村 亮 君
東信木青連	会団長	小林 寿徳 君
	副会団長	由井 正宏 君
松本材青会	会団長	田中 一興 君
	副会団長	石亀 道一 君
監事		澁澤 一吉 君
監事		大和 俊英 君

■日本木青連 出向者

代行副会長 島田 直政 君

財務委員会 委員長 田中 俊章 君

木青連活性化委員会 委員長 島田 直政 君

副委員長（2名）

新規委員会 副委員長

SCM推進委員会 委員

広報戦略委員会 副委員長

委員

木育創造委員会 副委員長

委員

木材活用委員会 副委員長

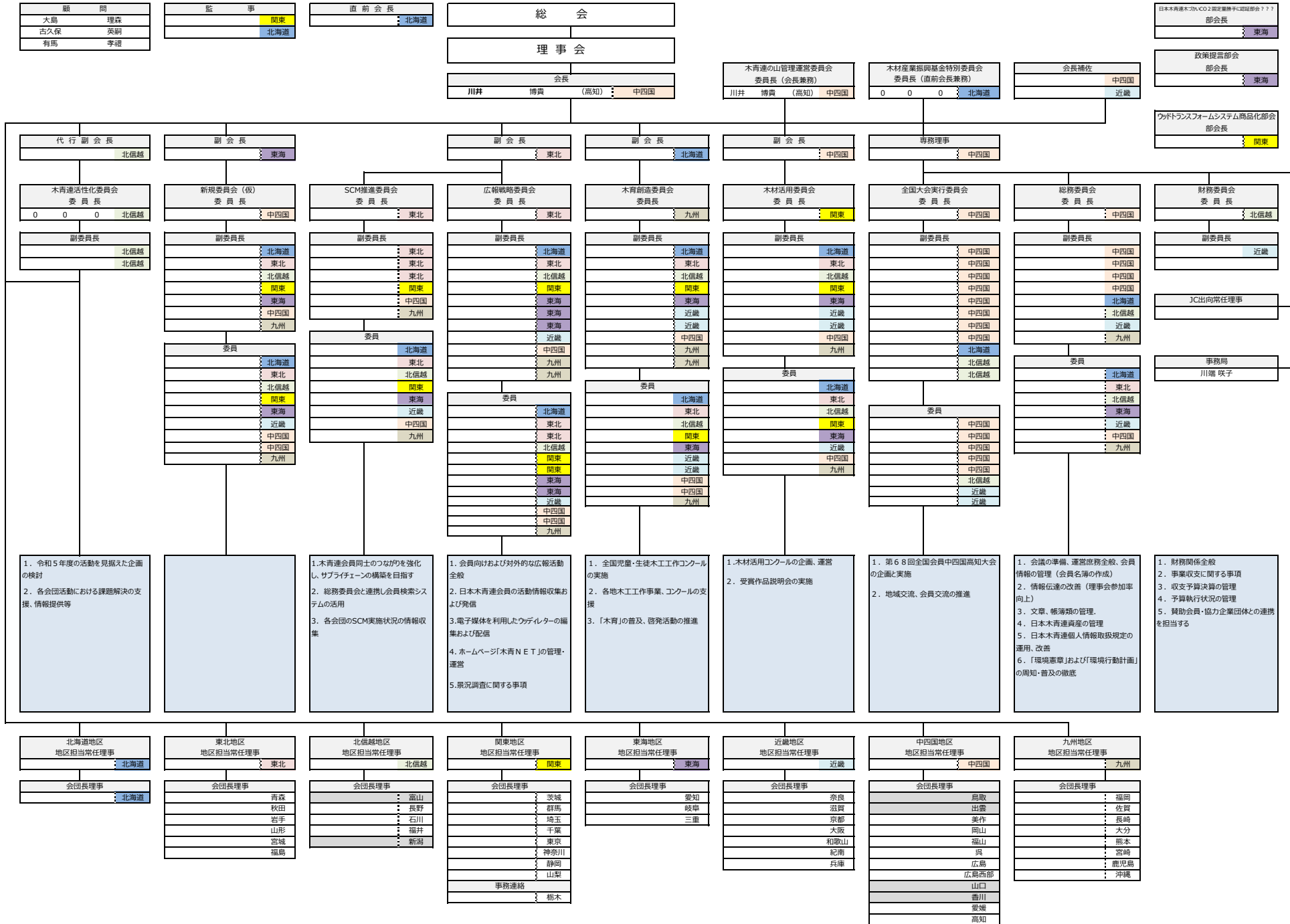
委員

全国大会実行委員会 副委員長（2名）

総務委員会 副委員長

委員

北信越担当委員会をすべて記載。長野県・石川県・福井県で振り分ける。



令和3年度 会団活動報告

北信木青連

会団長 坂田 庄蔵

副会団長 峯村 亮

7月	25日(日)	木工教室	大町・松川	国営アルプスあづみの公園
7月	29日(木)	北信木青連会議	長野	向陽不動産(株)
9月	29日(水)	北信木青連会議	長野	向陽不動産(株)
10月	23日(土)	長野市農業フェア	長野	ビックハット
10月	24日(日)	カラマツフェス	佐久	佐久市総合体育館
10月	30日(土)	木工教室	大町・松川	国営アルプスあづみの公園

令和3年度 東信木青連活動報告

会団長 小林 寿徳
副会団長 由井 正宏

6月 9日 県青連 理事予定者会議	書面決議
6月 15日 県青連 定時総会	書面決議
6月 28日 東信木青連 定時総会	書面決議
7月 17日 上小木青連 定例会	東御市 (株)第三木材
7月 25日 信州山の日2021 (木工教室)	大町市 国営アルプスあづみの公園
8月 7日 県青連 役員選考委員会 第2回理事会	長野県林業センター
9月 27日 東信木青連 木工工作コンクール審査会	北佐久木材協同組合
9月 28日 上小木青連 木工工作コンクール審査会	上小木材会館
10月 5日 県青連 木工工作コンクール審査会	長野県総合教育センター
10月 24日 カラマツフェス (木工教室)	佐久市 駒場公園

令和3年度松本材青会活動報告

会団長 田中 一興

副会団長 石亀 道一

4月 5日 (月)	役員会	国興
6月 5日 (土)	役員会	国興
6月 9日 (水)	第2回定例理事会	書面議決
6月 9日 (水)	令和3年度理事予定者会議	書面議決
6月 19日 (水)	日本木青連全国会員九州熊本大会	熊本・WEB
7月 3日 (土)	長野県木青連第1回理事会	北佐久木材協同組合
7月 14日 (水)	長野県木青連 人事依頼	第三木材
7月 14日 (水)	定例総会	WEB
7月 25日 (日)	信州山の2021木工教室	国営アルプスあづみの公園
8月 3日 (火)	定例会	百老亭
8月 7日 (土)	長野県木青連 役員選考委員会 第2回理事会	長野県林業センター
8月9月10月	長野県児童生徒木工工作コンクール作品集め	各学校 国興
10月 3日 (日)	長野県児童生徒木工工作コンクール審査	国興
10月 5日 (火)	長野県児童生徒木工工作コンクール審査会	長野県教育教育センター
10月 6日 (水)	長野県木青連 人事依頼	第三木材
10月 23日 (土)	長野市農業フェア木工工作教室	長野市
10月 24日 (日)	カラマツフェス木工工作教室	佐久市 駒場公園
10月 30日 (土)	アルプスあづみの公園木工工作教室	大町市
11月 20日 (土)	第1回北信越地区協議会	石川県金沢市
11月 28日 (日)	長野県木青連第3回理事会	長野県立美術館
11月 28日 (日)	長野県児童生徒木工工作コンクール表彰式	長野県立美術館